

○第十三號様式 (第七十五條参照)

明治何年度縣稅(何々)歳入金
明治何年何月分月計對照表

第二編會計 第一章通則

摘要	本月分	前月迄計	計	備考
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	拂戻命令執行未済額 圓錢厘
收入	1,000,000	0	1,000,000	
△拂戻	△10,000		△10,000	0
差引純收入	990,000	0	990,000	0

備考	明治何年何月何日	岐阜縣本(某支)金庫	宛
第一 本表ハ縣本金庫ニアリテハ歳入金口譯簿及郵便振替貯金ニ依ル歳入金口譯簿ニ依リ調製スルモノトス	收	入	命
第二 郵便振替貯金ノ分ニ對シテハ「郵便振替貯金ニ依リ納入ノ分」ト欄外ニ附記スヘシ	書	面	之
	明	治	何
	何	年	何
	何	月	何
	何	日	何
	令	者	印
	收	入	命
	之	額	相
	違	無	之
	候	也	

○第十二號様式 (第七十四條参照)

明治何年何月何日
出納日計表

第二編會計 第一章通則

摘要	借方	摘要	貸方
	圓錢厘		圓錢厘
某年度縣稅歳出	3,000,000	某年度縣稅歳入	15,000,000
クク歳入拂戻	20,000	クク歳出拂戻入	5,000
ク道路改修費歳出	0	ク木曾川改修費歳入	0
ク小學校教員加俸資金歳出	0	ク病院費歳入	0
ク教育資金歳出	0	ク罹災救助基金歳入	0
ク恩賜岐阜縣慈惠救濟基金歳出	0	ク何々歳入	0
ク何々歳出	0	雜部金收入	200,000
雜部金支出	150,000	回送受入	10,000,000
回送拂出	15,000,000		
計	18,170,000	計	25,205,000
本日残高	77,035,000	前日越高	70,000,000
合計	95,205,000	合計	95,205,000
本日回送中	5,000,000		

備考	書面ノ通	相違無之候也
本表ハ出納總括簿ニ登記シタルモノトス	岐阜縣	本金庫
本表ハ出納總括簿ニ登記シタルモノトス	某銀行	頭取
本表ハ出納總括簿ニ登記シタルモノトス	某	團
本表ハ出納總括簿ニ登記シタルモノトス	知事	宛

○第十五號様式 (第七十五條參照)

雜部金
明治何年上、(下)、半、年、間、受、拂、對照表

第二編會計第一章通則

摘要	金額
前期ヨリ越高	100,000
本期收入	20,000
計	120,000
本月支出	50,000
差引殘高	70,000

備考
明治何年何月何日
岐阜縣本(某支)金庫
廳長官(職)氏名宛
書面之金額相違無之候也
明治何年何月何日 長印

備考
本表ハ雜部金口譯簿ニ依リ調製スルモノトス

○第十四號様式 (第七十五條參照)

明治何年度縣稅(何々)歳出金
明治何年何月分月計對照表

第二編會計第一章通則

摘要	本月分	前月迄計	計	備考
	圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
命令受領	280,000	0	280,000	10,000
△戻入	△5,000		△5,000	
差引純支出	275,000		275,000	10,000

備考
明治何年何月何日
岐阜縣本(某支)金庫
仕拂命令者官(職)氏名宛
書面之金額相違無之候也
明治何年何月何日 令支拂命印

備考
本表ハ歳出金口譯簿ニ依リ調製スルモノトス

○第十六號樣式乙 (第七十六條參照)

明治何年何月何日

現金各地支金庫內譯簿殘高表

第二編會計 第一章通則

支 金 庫 名	所 屬 月 日	金 員	圓 錢 厘	
某 金 庫	何 月 何 日	7,685.000		
某 金 庫	何 月 何 日	10,000.000		
某 金 庫	〃			
	計	17,685.000		
岐阜縣本金庫				

○第十六號樣式甲 (第七十六條參照)

明治何年何月何日

出納總括簿殘高表

第二編會計 第一章通則

科 目	借 方	科 目	貸 方	圓 錢 厘	
現 金	59,350.000	某年度縣稅歲入	163,980.000		
各 地 支 金 庫	17,685.000	何々歲入	0		
回 送	5,000.000	雜 部 金	1,050.000		
某年度縣稅歲出	82,995.000				
何々歲出	0				
計	165,030.000	計	165,030.000		
岐阜縣本金庫					

縣 稅

年月日	摘要	豫算額 圓錢厘	歳入	
			調定濟額 圓錢厘	收入濟額 圓錢厘
何年	豫算決定	0		
何月	何月分收入計算書何通ニテ		0	0
△ク	△ク		△0	△0

備考
 第一 本簿ハ年度毎ニ調製シテ經濟毎ニ區分シ口座ヲ設クルモノトス
 第二 本簿登記ノ例ハ歳入主計内譯簿ニ同シ但シ本廳直接扱ニ係ル收入ハ歳入簿ヨリ轉記スルモノトス

(何々)

額		豫算額ト調定
不納缺損額	收入未濟額	濟額トノ差
圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
0	0	0
0	0	0

某年度

歳入主計簿

岐阜縣

○第十七號様式 (第七十七條参照)

縣稅(何々) 經常部(臨時部)何々(款)何々(項)何

年月日	摘要	豫算額 圓錢厘	歳	
			調定濟額 圓錢厘	收入濟額 圓錢厘
何年	豫算決定	0		
何月	某廳何月分收入計算		0	0
何日	書ニテ		△0	△0
△ク	△ク			

備考
 第一考 本簿ハ年度毎ニ調製シテ其ノ款項ニ區分シテ地租
 第二考 戸數ノ外ハ仍市郡收入トシテ其ノ分チ口座ヲ設クル
 第三考 表題ニシテ其ノ經濟名チ掲ケ各口座ニハ其ノ名チ省略スルモ
 豫算額ノ欄ハ豫算ノ法定及其ノ増減アリタルトキ登記ス
 接歳ニ係ルハ各廳解ノ收入計算書ニ依リ登記シ本廳ノ直
 接歳ニ係ルハ各廳解ノ收入計算書ニ依リ登記シ本廳ノ直

々(目)

入 額		豫算額ト 調定濟額 トノ差 圓錢厘
不納缺損額 圓錢厘	收入未濟額 圓錢厘	
0	0	0

某 年 度
 歳入主計内譯簿

岐 阜 縣

○第十八號様式(第七十七號參照)

○第十九號様式 (第七十七條参照)

某年度
歳出主計簿

岐阜縣

縣 稅 (何々)

年月日	摘要	仕拂命令 要付済額		豫算残額
		圓錢厘	圓錢厘	
何何	豫算決定	0		0
何何	何月分支出計算書何通 ニテ		0	
△ク	△ク		△0	0

備考
 第一 本簿ハ年度毎ニ調製シテ經濟毎ニ區分シ口座ヲ設クルモノトス
 第二 豫算額ノ欄ハ豫算ノ決定及其ノ増減アリタルトキ登記スルモノトス
 第三 仕拂命令發付済額ノ欄ハ各廳解ノ支出計算書ニ依リ登記シ本廳ノ直接扱ニ係ル支出ハ歳出簿ヨリ毎月轉載スルモノトス

縣稅(何々)經常部(臨時部)何々(款)何々(項)何々

年月日	摘要	豫算額		仕拂命令 發付濟額
		決定	増流用減	
何年	何何	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
	豫算決定	0		
	某廳解何月分支出計算書ニテ			0
△ク	△ク △ク			△0
ク	何々ニ依リ某費ヨリ流用増		0	
ク	何々ニ依リ豫備費ヨリ補充		0	
△ク	何々ニ依リ某費へ流用減		△0	

備考
 第一分一ノ口經シ
 第二各ノ豫座濟口本
 第三出アノ算ニノ座簿
 依三ノリ決リ豫座濟口本
 月リノアノ算ニノ座簿
 轉登仕決リ豫座濟口本
 記記拂定タ算ニノ座簿
 スシ命アル額ハミチハ
 ル本令リトノ其登設年
 モ廳發タキ欄ノ記ク度
 ノ直付ルハ内名スル毎
 ト接濟ト流決チルモノ調
 ス扱額キ用定省トノ製
 ニノ登増ノ略キト製
 係欄記減區スハスシ
 ルハスノニハ表但テ
 支各ル區ハモ題シ經
 出廳モニ豫坊ニ數濟
 ハ解ノハ算ケ其冊及
 歳ノトハ流ノナノト其
 出支ス用ノ決シ經ナノ
 内出支及豫濟シノ款
 譯計出及豫濟シノ款
 簿算出及豫濟シノ款
 ヲ算出及豫濟シノ款
 ヲ算出及豫濟シノ款

(目)

豫算種額

圓錢厘

某年度

0

歳出主計内譯簿

0

岐阜縣

第二編會計 第一章通則
 ○第二十號様式(第七十七條参照)

1 縣金庫 (回送金)

年月日	摘要	借	貸	借或貸	現
何年何月何日		圓錢厘	圓錢厘	借 ク	圓錢厘
	高入	0			0
	越受	0			0
	拂出		0		0

備考

第一 本簿ハ貸方科目チ年度及經濟毎ニ區分シ借方科目チ縣金庫及各縣金庫間ノ回送中トニ區分シ口座ヲ設ク

第二 本簿ハ縣本金庫ノ出納日計表ニ依リ登記スル者トス

縣金庫現金出納額總括簿

一 較 準 縣

(附録第十一号) 歳入歳出帳

日 月 年 何 何

3 雑 部 金

第二編會計第一章通則

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何年何月何日		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
	越 高		0	貸	0
	收 入		0		
	支 出	0		借	0

2 (某年度縣稅) (某年度何々)

第二編會計第一章通則

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何年何月何日		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
	越 高		0	貸	0
	歳 入		0		
	歳出戻入		0		
	歳 出	0		借	
	歳入拂戻	0		借	0

收入未清額		某 年 度	
圓錢厘		歲 入 簿	
2,050,000			
999,000			
499,000			
		某 廳 庫	

○第二十二號樣式 (第七十八條參照)

第二十一號樣式附屬 (第七十七條參照)

明治何年何月何日
縣金庫現金出納額總括簿殘高表

科 目	借 方	科 目	貸 方
	圓錢厘		圓錢厘
縣 金 庫	0	某 年 度 縣 稅	0
回 送 金	0	々 何 々 金	0
		雜 部	0
計	0	計	0

備 考

本表ハ縣金庫現金出納額總括簿ノ結果ニ依リ毎日
之ヲ調製シ知事ニ提出スルモノトス

(小學校教員恩給基金) 某年度歳入

某年度歳入	
000,000	郵便振替貯金ニ依ル歳入金口座簿
000,000	
000,000	
000,000	
000,000	
000,000	

岐阜縣本金庫

〇第二十八號様式乙

某廳縣稅、罹災、救助、基金(小學校教員恩給基金)(何々)

年月日	摘要	収入額		累計		備考	
		圓	錢	圓	錢	拂戻命令執行未済額	圓
何年	収入	1,000	000	1,000	000		
何月	△ク 拂戻					0	
	何月分合計	1,000	000				
	△拂戻合計						
	純合計	990	000				
何年	収入	500	000	1,490	000	0	
	何月分合計	500	000				

備考
 第一 本簿ハ年度毎ニ調製シ各廳解及
 經濟毎ニ區分シ口座ヲ設クルモノト
 第二 收入額ノ欄ハ徵稅令書、賦課令
 書、納額告知書、納付書及出納吏
 受付書ニ依リ又ハ拂込ノ通知票ニ依リ
 記シ歳入拂戻ニ係ル通常仕拂命令送
 金仕拂命令集合仕拂命令及送金集
 仕命令ニ依リ拂戻ヲ登記スルモノ
 第三 備考ノ欄ハ歳入金拂戻ニ係ル集
 合仕拂命令ノ内仕拂濟ニ至ラサルモ
 ノヲ登記スルモノトス但シ此ノ欄ハ
 毎月末日ニ限リ登記シ日々ノ登記ヲ
 省略スルモ妨ケナシ

(何々)

仕拂算殘額	備考		某年度
	仕拂命令執行未済額	備考	
5,000,000			
4,755,000	50,000		歳出金口簿
4,725,000	10,000		
4,625,000			
			岐阜縣本(某支)金庫

〇第二十九號様式 (第八十一條参照)

某廳麻絲稅 (小學校教員恩給基金)

年月日	摘要	收入額	累計
何年			
何々	收入	500,000	500,000
何々	同	30,000	530,000
	何月分合計	530,000	
何々	收入	200,000	730,000
	何月分合計	200,000	
	累計	730,000	

備考
第一

第二

本簿ハ年度毎ニ調製シ
各廳及經濟毎ニ區分
シ口座ヲ設クルモノト
ス
收入額ノ欄ハ郵便局ノ
拂込通知ノ票ニ依リ受付
局日付印ノ日チ以テ登
記ス

出納總括簿

岐阜縣本金庫

○第三十號様式甲 (第八十二條参照)

某廳解縣稅 (罹災救助基金)

年月日	摘要	仕拂豫算額		仕拂命令受領額	
		圓	錢	圓	錢
何年	豫算令達	5,000	000		
何年	命令受領			250	000
△	戻入			△50	000
	命令受領			30	000
	何月分合計	5,000	000	280	000
	△戻入合計			△50	000
	純合計	5,000	000	275	000
何年	命令受領			100	000
	何月分合計	0		100	000
	累計	5,000	000	375	000

備考
 第一 簿本
 第二 簿分シ
 第三 簿口座ニ
 第四 簿ヲ設
 第五 簿ハ知事ノ
 第六 簿ハ依
 第七 簿ハ依
 第八 簿ハ依
 第九 簿ハ依
 第十 簿ハ依
 第十一 簿ハ依
 第十二 簿ハ依
 第十三 簿ハ依
 第十四 簿ハ依
 第十五 簿ハ依
 第十六 簿ハ依
 第十七 簿ハ依
 第十八 簿ハ依
 第十九 簿ハ依
 第二十 簿ハ依

2 各地支金庫

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	越 高	20,000,000		貸	20,000,000
何何	ク 受 入	3,075,000			
何何	ク 拂 出		5,390,000	ク	17,685,000

1 現 金

年月日	摘要	貸	借	借或貸	残
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	越 高	50,000,000		借	50,000,000
何何	ク 受 入	22,130,000			
何何	ク 拂 出		12,780,000	ク	59,350,000

備考
第一
第二

本簿ハ貸方チ年度及經濟毎ニ區記シ借方チ本金
庫ノ現金各地方支金庫ノ現金及各縣金庫間ノ回送
中トニ區分シ口座チ設ケルモノトス
本簿ハ各地方支金庫ノ現金及各縣金庫間ノ回送
出納ノ憑書ニ依リ登記スルモノトス

4 何年度縣稅歲入(某年度小學校教員恩給基金歲入、某年度)
 罹災救助基金歲入、某年度何々歲入

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	越高		142,000,000	貸	149,000,000
何何	收入		15,000,000		
何何	拂戻	20,000		カ	163,980,000

3 取回送金

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	拂出	15,000,000			
何何	受入		10,000,000	貸	5,000,000

6 雜 部 金

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	越 高		1,000 0	貸	1,000 000
クク	收 入		200 000		
クク	支 出	150 000		ク	1,050 000

5 某年度縣稅歲出 (某年度小學校教員加俸資金)
歲出、某年度何々歲出

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何年		圓錢厘	圓錢厘		圓錢厘
何何	越 高	80,000 000		借	80,000 000
クク	支 出	3,000 000			
クク	戻 入		500 0	ク	82,995 000

郵便振替貯金整理簿

岐阜縣本金庫

年月日	摘要	貯金額	引出額	残額
何年				
何々	何町村分	100.000		100.000
何々	引出		50.000	50.000

備考
 貯金額ノ欄ハ郵便局ヨリ拂込
 通知票ヲ受ケタルトキ又引出
 シノ欄ハ金庫ニ於テ貯金ヲ引
 出額タルトキ記載スルモノト
 ス

某支金庫 縣稅 (罹災救助基金) (何々)

年月日	摘要	收入額		收入額累計	
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何年					
何何	何月何日分	1,000,000			
△△	△△拂戻	△ 0000	990,000		
何何	何月何日分	500,000	1,490,000		
何	何月分某廳麻月計對照額				

備考
 第一 本簿ハ年度毎ニ調製シ各地支金庫及經濟チ區分シ
 第二 座ヲ設クルモノトス
 第三 各廳麻ノ各支金庫ノ出納日計表ニ依リ登記
 第四 各廳麻ノ各支金庫ヨリ送付スル歲
 差額ヲ對照スルモノトス
 第五 各廳麻ノ各支金庫ノ對照額ニ依リ登記
 第六 各廳麻ノ各支金庫ノ對照額ニ依リ登記
 第七 各廳麻ノ各支金庫ノ對照額ニ依リ登記
 第八 各廳麻ノ各支金庫ノ對照額ニ依リ登記

(何々)

各廳麻 對照濟額	對照未濟 額	某年度歲入	
		圓錢厘	圓錢厘
	000,000		
	990,000		
990,000	500,000		

各地支金庫內譯簿

岐阜縣本金庫

○第三十一號樣式 (第八十二條參照)

某支金庫 縣 稅 (罹災救助基金) (何々)

年月日	摘要	支出額	支出額累計	各縣解 對照濟額
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何年 何月何日分		200 000		
△△ 何月何日分	△△戻入	△5 000	195 000	
何月何日分		70 000	265 000	
何月何日分		110 000	375 000	
何月何分	何月分某廳解月計對照額			275 000

備考
第一 本簿ハ年度毎ニ編製シ各地支金庫及經濟ヲ區分シ
第二 支出額ノ欄ハ各地支金庫ノ出納日計表ニ依リ登記
第三 各廳解對照額ノ欄ハ各地支金庫ヨリ送付スル
第四 出金對照額ノ欄ハ各地支金庫ノ出納日計表ニ依リ登記
第五 差額對照額ノ欄ハ各地支金庫ノ出納日計表ニ依リ登記

(多附) (金基帳簿別冊) 對照 某支金庫

對照未濟額	某年度歲出	各地支金庫內譯簿	岐阜縣本金庫
圓錢厘			
100 000			

○第三十二號樣式 (第八十二條參照)

某支金庫

年月日	摘要	受	拂	残
何年 何月 何日	何何何 何月何日分	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
	越 高	10,000,000		10,000,000
	何月何日分	3,075,000	5,390,000	7,685,000

備考
 第一 本簿ハ各地支金庫ヲ區分シ口座ヲ設ケルモノトス
 第二 受ノ欄及拂ノ欄トキ各地支金庫ノ出納日計表ニ依リ登記スルモノトス

現金

各地支金庫内譯簿

岐阜縣本金庫

1 本 金 庫

年月日	摘		要		回送額	回著額
	回送月日	回送金名	回著金名	回著金名		
何年 何月 何日	本日	本金庫	某支金庫	カ	2,000,000	2,000,000

備考
第一考
本簿ハ本金庫ト各地支金庫トヲ區分シ口座ヲ設
クモトス
第二考
本金庫ノ受拂ニ係ルモノハ本金庫ニ於ケル現金
ノ出納ノ證憑書ニ依リ各地支金庫ニ係ルモノハ支金庫
ノ出納ノ證憑書ニ依リ各地支金庫ニ係ルモノハ支金庫
ノ出納ノ證憑書ニ依リ各地支金庫ニ係ルモノハ支金庫
ノ出納ノ證憑書ニ依リ各地支金庫ニ係ルモノハ支金庫

未著額	回著額	各縣金庫	
		何月何日	回著
2,000,000	0	0.00,000.01	0.00,000.01

回送金整理簿

岐阜縣本金庫

回送金整理簿

岐阜縣某支金庫

○第三十五號様式（第八十三條參照）

2 各地支金庫

年月日	摘要		回送額	回著額	未著額	頭末
	回送月日	回送金庫名 回著金庫名				
何年	何月何日	某支金庫本金庫	8,000,000			何月何日
ク	ク	某支金庫某支金庫	5,000,000			何日回著
ク		某支金庫本金庫		8,000,000	5,000,000	

2 罹災救助基金 (何々)

年月日		摘要	借方		貸方		借或貸	残
何年何月何日	圓		錢	厘	圓	錢		
		何々 (事由記載)			0		貸	0

I 現金 (預金) (國債證券) (何々)

年月日		摘要	借方		貸方		借或貸	残
何年何月何日	圓		錢	厘	圓	錢		
		何々 (事由記載)			0		借	0

備考
本簿ハ經濟毎ニ調製シ貸方科目ヲ經濟名ニ借方科目ヲ其ノ財産ノ種類ニ區分シ口座ヲ設ケ登記スルモノトス

某 銀 行

年月日	摘要	預ケ入額	引出額	残 額	日 數
何 年		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
何 何	當座(何年何月何日 マテ定期)預入	0		0	何 何
何 何	本日引出シ		0	0	何 何
何 何	翌期へ越高		0	0	
		0	0	.	何
何 何	前期ヨリ越高	0		0	

備考

本簿ハ經濟母ニ調製シ預ケ先毎
ニ口座ヲ設ケ登記スルモノトス

日 積 數	利息 割合	利 息	利息收入 年 月 日
圓錢厘		圓錢厘	
0	何		
0	何		
0		0	何年何月 何日納濟
	何		

岐 阜 縣

某町村 (何組合)

年月日	摘要	貸付額	償還額	残額	月數
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
何年	何々(貸付ノ事由及返還ノ方法詳記)	0		0	何
何何	本日返還		0	0	何
何何	翌期へ越高		0	0	何
何何	前期ヨリ越高	0		0	

備考

本簿ハ經濟毎ニ調製シ貸付先毎ニ口座ヲ設ケ登記スルモノトス

利息

月積數	利息割合	利息	利息收入年月日
圓錢厘		圓錢厘	
0	何		
0	何		
0		0	何年何月何日納済
	何		

教育資金 何々)

貸付金口譯簿

岐 阜 縣

縣稅'罹災救助基金) (何々) 資金前渡(概算拂)
 經常部(臨時部)何々(款)何々(項)何々(目)官(職)氏名

年月日	摘要	支出額	精算額	戻入金	未精算額
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何年	何月分前渡	200000			200000
何年	何月分仕拂計算書ニテ		198000		
	・過剰返納			2000	0
	何月分合計	200000	198000	2000	
何年	某何所出張旅費概算				15000
何年	・精算	15000	14000		
何年	・過剰返納			1000	0

備考
 第一考 本區分ハ年度毎ニ調整シテ經濟及概算拂資金
 第二考 但シ區分ハ年度毎ニ調整シテ經濟及概算拂資金
 第三考 支スルシテ前渡受ケタル者チモ
 第四考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第五考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第六考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第七考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第八考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第九考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命
 第十考 精算額ノ概算額トシテ仕拂命

某年度歳出

概算拂及資金前渡整理簿

某 處 辨

契約保證金 (何々)

年月日	摘要	受入額	仕拂額	残額	頭末
何年 何何		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	何月何日 拂渡
	越 高				
	何々何月何日 50.000				
	何々何月何日 20.000				
	何々何月何日 30.000	100000		100000	
	何々何某納金庫領收濟 通知書第何號	20000			
	何々何某渡切符第何號		50000	70000	
	何月分合計	120000	50000		
	備 第 第 第 考 ク記三ル對庫二モ一 入且仕ノル領受ト本 ス同拂ト領收入ス簿 ル時額ス收濟額ノ雜 モノノ濟通ノ欄ハ部 ト末欄ハ仕書(出納吏ノ種 ノ欄ハ仕書ハ除ク)ニ依リ金庫通知書及縣 受入記載ノ所ニ式ノ如				

雜部金受拂簿

某 處 附

○第四十二號樣式 (第八十八條參照)

某 廠 庫

年 月 日	何 何 何 何	摘要	受入額	仕拂額	残 額
			圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
		越 高	100000		100000
		收 入	20000		
		支 出		50000	70000
		何月分合計	20000	50000	

備
第 第
三 二一考

受仕登本
入記入簿
額ス額ハ
ノルノ各
欄モ欄ハ
ハトハ解
トス通トス
常仕通區
仕拂通知
切符書及
符及出納
送金更ノ
仕拂更ノ
切符ニ依
リ

() 金 部 金 口 簿

雜 部 金 口 簿		
原 始 簿	原 始 簿	原 始 簿
		000.00
		000.02
000.001		000.01
		000.02
000.01	000.05	
	000.06	000.021

較 阜 額 本 (某支) 金 庫

某 支 金 庫

年 月 日	摘 要	受 入 額	仕 拂 額	残 額
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
何 年	越 高	160000		100000
何 何	何 月 何 日 收 入	20000		
何 何	何 月 何 日 支 出		50000	70000

備 考

第一ノ本簿ハ各地支金庫ヲ區分シ口座ヲ設ケル
 第二ノトス
 出納受入額ノ欄及仕拂額ノ欄トモ各地支金庫
 日計表ニ依リ登記スルモノトス

雜 部 金

各地支金庫内譯簿

岐 阜 縣 本 金 庫

本月中出納支ノ現金受拂仕譯下ノ如ノ	
前月ヨリ越高	0
本月中受入高	0
計	1
本月中金庫へ拂込高	0
翌月へ越高	0

明治何年度歳縣入税何々何年何月分收入計算書面之ヲ相違無之候也

收入命令者官(職)氏名宛

知事宛

明治何年何月何日

備考

第一 收入計算書ハ歳入内譯簿ノ結果ニ依リ
 經濟毎ニ區分シ各別ニ調製スルモノトス但
 シ現金受拂仕譯ハ出納吏現金領收額整理簿
 ニ依リ之ヲ掲出スヘシ

第二 料紙ハ墨水引美濃紙トシ文字ハ改描塗
 抹ヲ禁ス但シ訂正ヲ要スルトキハ之ニ二線
 チ畫シ捺印スヘシ

毎月計算書ヲ提出セサルモノニアリテハ様
 式中「何年何月分」チ「何年何月ヨリ何月
 ニ至ル分」前月「前期」本月「本期」
 「翌月」チ「次期」ト記載スヘシ

摘要	調定濟額				收
	前月迄計	本月分	本月中減	計	
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
雜收入					
物品賣拂代					
並木枯損木賣拂代	0	0	0	0	0
雜種物賣拂代	0	0	0	0	0
(市郡收入)	0	0	0	0	0
ク(郡收入)	0	0	0	0	0
何年度何税延納					
何税延納	0	0	0	0	0
何年度雜收入延納					
何々延納(郡收入)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
經常部合計	0	0	0	0	0
臨時部					
寄付金					
某費寄付金					
某費ノ内某費ニ對ス					
ル寄附金(市郡收入)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
何々					
何々	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
臨時部合計	0	0	0	0	0
總計	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0

第二編會計 第一章通則

合計	何々	何々	○	○	何々	某
----	----	----	---	---	----	---

明治何年何月何日

收入命令者官(職)氏

名 團

備考

- 第一 缺損金アリタルトキハ此ノ式ニ依リ明細書ヲ製シ收入計算書ニ添付スルモノトス
- 第二 缺損金明細書事由ノ欄ニハ滞納者失踪逃亡等ニテ財産ノ所在分明セス又ハ無財産或ハ財産ノ價格處分費ヲ償フニ足ラサル等缺損ノ事由ヲ詳記スヘシ
- 第三 一ノ滞納者ニ對シテ二税目以上同時ニ滞納處分ヲ爲シタル如キ缺損ノ事由同シキ場合ハ一ノ税目ノ部ニ於テ之ヲ詳記シ他ノ税目ノ部ニハ事由ノ欄内ニ何税ノ部ニ明記スト記載スルモ妨ケナシ
- 第四 不納者ノ住所ト税金ヲ賦課シタル町村及大字トヲ異ニスルトキハ事由ノ欄内ニ其ノ賦課シタル町村及大字名ヲモ記載スヘシ
- 第五 滞納額ノ内幾部ノ金額缺損ト爲リタルモノアルトキハ式ノ如ク事由ノ欄内ニ其ノ徵收金額ヲモ記載スヘシ
- 第六 毎月計算書ヲ提出セサルモノニアリテハ様式中「何年何月分」ヲ「何年何月ヨリ何月ニ至ル分」ト記載スヘシ

第四十四號様式附屬未收入明細書様式 ○用紙美濃紙 (第九十條參照)
 明治何年度何税(何々)收入計算書附屬
 未收入明細書

科 目	所 屬 期	未 事 由 入	督 促 ノ 頭 末	金	員	未 納 者 住 所 氏 名
何(款)						
何々(項)						
市郡收入						
	下半年	記所へ處分 囑託中又ハ 何々ニヨル	納期何年何月 何日限ノ處未 納日付何月何 日督促狀發付	○		何郡市町村大字 何某
郡收入						
	下半年	何々	何々	○		何々
何々(項)						
	同	何々	何々	○		同
何々(目)						
	何月	何々	何々	○		何々
合計				○		某

第二編會計 第一章通則

第二編會計第一章通則

明治何年何月何日

二〇四

備考

收入命令者官(職)氏

名 附

年度最終ノ計算書ニ添付スヘキ未收入明細書ハ此ノ式ニ依ルモノトス
 ○第四十五號様式(第九十條参照)

明治何年度歳入縣稅調定額計算書

某 廳 附

備考

- 第一 料紙美濃紙トシ明細書ヲ合セ袋綴トスヘシ
- 第二 調定額計算書ノ内譯金額ハ毎内譯明細書ノ合計金額ヲ掲グルモノトス
- 第三 内譯明細書ハ每款別表ニ調製スルモノトス
- 第四 調定額ノ内誤謬其ノ他ノ事故ニテ更正シタルモノアルトキハ其ノ更正額ヲ記載スルモノトス
- 第五 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス但シ訂正ヲ要スルトキハ之レニ二線ヲ畫シ捺印スヘシ
- 第六 (削除)
- 第七 様式ヲ示ササルモノ若ハ事實様式ニ依リ難キモノアルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ歳入金ノ性質ヲ詳記スヘシ

明治何年度歳入縣稅調定額計算書

一金何程

調 定 額

内 譯

科 目	金 額
經 常 部	
何 々 (款) 何 程	金 何 程
何 々 (款) 何 程	金 何 程
臨 時 部	
何 々 (款) 何 程	金 何 程

第二編會計第一章通則

二〇五

第二編會計 第一章通則

種別	二等地		藝妓延月數	金員	備考
	上半期	下半期			
何等					
何等					

藝妓屋稅

種別	何地		課稅物件數	金員	備考
	十四年以上	同未滿			
何等					
何等					

工業稅

種別	工何等業				戶數	金員	備考
	女		男				
	下半期	上半期	下半期	上半期			
	何人	何人	何人	何人			

合計金何程
雜種稅明細書

料理屋稅

種別	一等地		戶數	金員	備考
	上半期	下半期			

業稅ノ例ニ依ヒ且飲食店ヨリ轉業又ハ兼業ヲ爲シ增稅賦課セシモノアリタルトキハ尙其ノ事項ヲモ詳記スヘシ

第二編會計 第一章通則

第二編會計第一章通則

種別		課稅物件數	金	員	備	考
種	別					
市場稅	定期開場	延何夕月	金	員	備	考
	臨時開場	延何日				
波劇稅						
船稅	三間迄	延日數	金	員	備	考
木戶錢	上等場代	延日數	金	員	備	考
一金何程						
內						

及川船十五石未滿

種別		課稅物件數	金	員	備	考
種	別					
車稅	四間迄	延何夕月	金	員	備	考
	三間迄	延何日				
船稅						
船	何	延日數	金	員	備	考
四間迄	何	延日數	金	員	備	考
三間迄	何	延日數	金	員	備	考
四間迄	何	延日數	金	員	備	考
一金何程						
內						

第二編會計第一章通則

一金何程

漁業稅

種別	築		流		種別	課稅物件數	金	員	備	考
	一等築場	何等築場	流	稿						
上 半 期	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
	上	下	上	下						
下 半 期	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
	上	下	上	下						
合計金何程										
國稅營業稅附加稅明細書										
國稅營業稅附加稅										
種別	國稅營業稅納額		金		員		備		考	

(國稅營業稅納額ハ各其ノ期ノ納額ヲ掲クルモノトス)

下
半
期

○第四十六號様式(第九十一條參照)

明治何年度歳出
 縣稅(何々)
 明治何年何月分
 支出計算書

其 際

明治何年度歳出縣稅(何々)何年何月分支出計算書面之通相違無之候也

仕拂命令者官(職)氏名

知事宛

明治何年何月何日

備考

- 第一 支出計算書ハ歳出内譯簿ノ結果ニ依リ經濟毎ニ區分シ各別ニ調製スルモノトス但シ概算拂資金前渡仕譯ハ其ノ整理簿ニ依リ之ヲ掲出スヘシ
- 第二 料紙ハ馨水引美濃紙トシ文字ハ改描塗抹ヲ禁ス但シ訂正ヲ要スルトキハ之ニ二線ヲ畫シ捺印スヘシ
- 第三 豫算外ノ事項ニシテ豫備費支出ニ屬スルモノハ備考欄ニ其ノ仕拂金額事由ヲ記入スヘシ
- 第四 毎月計算書ヲ提出セサルモノニアリテハ様式甲「何年何月分」ヲ「何年何月ヨリ何月ニ至ル分」「前月」ヲ「前期」「本月」ヲ「本期」「翌月」ヲ「次期」ト記載スヘシ

2 概算拂及現金前渡仕譯

摘要	前月末	本月	本月	本月	翌月へ
	精算額	支出額	精算額	返納額	越高
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
概算拂 經常部 何々(款) 何々(項) 何々(目)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
何々(款) 何々(項) 何々(目)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
概算總合計	0	0	0	0	0
資金前渡 經常部 何々(款) 何々(項) 何々(目) 何々(項) 何々(目) 何々(目)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
臨時部 何々(款) 何々(項)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0
資金前渡合計	0	0	0	0	0
總計	0	0	0	0	0

第二編會計 第一章通則

○第四十六號様式附屬救助明細書様式

○用紙美濃紙(第九十一條参照)

明治何年度罹災救助基金何年何月分支出計算書

附屬救助明細書

某 應 庫

明治何年度罹災救助基金何年何月分支出計算書附屬

救助明細書

金何程

内 譯

金何程

何年何月何日何災救助

避難所費

避難所又ハ焚出所名	開設中月日及日數	金
何郡何町避難所	何月何日何日	○
何郡何村焚出所	何月何日何日	○
計		○

金何程

但白米何石及玄米何石買入代
右食料米穀仕譯左ノ如シ

食料費

- 一 玄米何石
- 一 玄米何石
- 一 玄米何石
- 一 玄米何斗
- 一 白米何石
- 一 白米何石

何月何日何災救助殘米元受
買入
何應解ヨリ回送
買出
量
買入
玄米 搗白ク受

第二編會計 第一章通則

第二編會計第一章通則

一白米何斗
合計 立米何石
白米何石

內
白米何石何斗

焚出救助ノ分

焚出所所在地名	焚出救助區域		給與現人員	給與延人員	開設中月日及日數	米發數量
	何村	何村ノ内何々				
何郡何村	何村ノ内何々	何町ノ内何々	○	○	何月何日迄何十日	○石
何郡何町	何村ノ内何々	何村ノ内何々	○	○	何月何日迄何日	○
計	何々	何々	○	○		○

白米何石

現品給與ノ分

郡町村名	給與人員		給與日數	米發數量
	男	女及老幼男		
何郡何町	○	○	何日	○
何郡何村大字何	○	○	何日	○

計	給與人員		襦袢員數	帶員數
	男	女及老幼男		
立米何石	○	○	○	○
立米何石	○	○	○	○
立米何斗	○	○	○	○
白米何石	○	○	○	○
白米何斗	○	○	○	○
白米何斗	○	○	○	○
金何程	○	○	○	○
內	○	○	○	○
金何程	○	○	○	○
金何程	○	○	○	○
金何程	○	○	○	○
金何程	○	○	○	○
右給與仕譯左ノ如シ	○	○	○	○
其一	○	○	○	○

襦袢 何枚
帶 何筋
何々何程

被服費

何月何日ノ何災救助ニ充用

量減

何月何日賣拂

何月何日回送

何月何日回送

何應解ニ回送

何應解ニ回送

摺白々ニ拂

計

立米何石

立米何石

立米何斗

白米何石

白米何斗

白米何斗

金何程

內

金何程

金何程

金何程

金何程

右給與仕譯左ノ如シ

其一

郡町村名

給與人員

單衣員數

襦袢員數

帶員數

何郡何町

何郡何町

何郡何町

第二編會計第一章通則

第二編合計第一章通則

二二六

計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其二							
郡町村名	何々	員數	何々	員數	何々	員數	何々
何郡何町	〇		〇		〇		〇
何郡何村	〇		〇		〇		〇
計	〇		〇		〇		〇

金何程
内

治療費

何地治療所費

何町村名	氏名	年齢	傷病名	治療月日及日數	金	員
郡町村名	氏名	年齢	傷病名	治療月日及日數		
何郡何町	何某	何年	何	何月何日ヨリ何日		
何郡何村	何某妻	何年	何	何月何日ヨリ何日		
同村	何某	何年	何	何月何日ヨリ何日		
計						

金何程

何醫院へ囑託治療費

何郡何町	何某	何年	何々	何月何日ヨリ何日	〇	〇圓
何々各患者ニ跨リ其ノ金額ノ區分ヲ爲シ難キモノハ該事項及金額ヲ玆ニ掲クヘシ						

金何程
内

小屋掛費

右給與仕譯左ノ如シ

金何程 杉丸太 何十本
 金何程 竹 何十本
 金何程 葉 何束
 金何程 繩 何把
 金何程 蕙 何枚
 金何程 何々 何程

郡町村名	給與戸數	杉丸太員數	竹員數	葉員數	繩員數	蕙員數	何々員數
何郡何町	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
何郡何村	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

金何程
内

就業費

第二編合計第一章通則

二二七

第二編會計第一章通則

金何程
金何程
金何程

錄何十挺
錄何十挺
何々何程

計	何郡何村	何郡何町	郡町村名	給與戸數	錄員數	錄員數	何々員數	何々員數	何々員數
○	○	○					○	○	○
○	○	○					○	○	○
○	○	○					○	○	○
○	○	○					○	○	○

右之通有之候也

明治何年何月何日

仕拂命令者官(職)氏

名 印

知 事 宛

備 考

殘品アルトキハ食料費ノ例ニ倣ヒ其ノ種類員數及處分ノ途ヲ明記スルモノトス

○第四十七號様式 (第九十二條参照)

明治何年度間(又ハ自明治何年何月何日至明治何年何月何日)

現金出納計算書

某 處 辦

第二編會計第一章通則

明治何年度間（又ハ自明治何年何月何日至明治何年何月何日）現金出納計算書面之通相違無之候也

岐阜縣出納吏官(職)氏名

知事宛

明治何年何月何日

備考

第一 現金出納計算書ハ現金出納簿ニ依リ調製スルモノトス
 第二 料紙ハ零水引美濃紙トシ文字ハ改描塗抹ヲ禁ス但シ訂正ヲ要スルトキハ之ニ二線ヲ畫シ捺印スヘシ

摘要	本期中		残額
	受入額	支拂額	
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
明治何年度歳入			
縣稅	0	0	0
福災救助基金	0	0	0
何々	0	0	0
計	0	0	0
明治何年度歳入			
縣稅	0	0	0
何々	0	0	0
計	0	0	0
雜部金	0	0	0
計	0	0	0
合計	0	0	0

第二編會計 第二章 通則

○第四十八號様式 ○用紙美濃紙 (第九十三條參照)

明治何年度何費(款)

何年何月(自何日)至何日(分) 仕拂計算書

科目	元		高		仕拂精算高		残高
	前月ヨリ	越	本月受取	高	本月仕拂	本月戻入	
何々(項)	圓	00	圓	1000	圓	1000	圓
何々(目)	圓	1000	圓	7000	圓	0	圓
何々(項)	圓	1000	圓	1000	圓	1000	圓
何々(目)	圓	1000	圓	1000	圓	0	圓
何々(項)	圓	1000	圓	1000	圓	1000	圓
何々(目)	圓	1000	圓	1000	圓	0	圓
合計	圓	10000	圓	10000	圓	10000	圓

残高ニ對スル内譯左ノ如シ

金査圖

金參圖

右仕拂計算書面ノ通相違無之候也

明治何年何月何日

概算拂高
現金在高

資金前渡ヲ受ケタル

官(職)氏

名 印

備考

仕拂命令者宛

- 第一 仕拂計算書ハ每款別冊ニ調製スヘシ
- 第二 様式中前月ヨリ越高ハ前月ノ計算書中残高ノ金額ヲ掲ケルモノトス
- 第三 様式中本月仕拂高ハ其ノ月精算拂ノ金額ヲ掲出シ本月戻入高ハ精算金額ノ内過誤拂ニ依リ其ノ月戻入レタル金額ヲ掲ケルモノトス
- 第四 概算拂アリテ精算ニ至ラサル金額ハ残高中ニ編入シ残高ノ合計ニ對シ式ノ如ク内譯ヲ掲ケルモノトス
- 第五 仕拂計算書ハ仕拂金ナキト雖トモ受取金若ハ返納金アリタル月ハ之ヲ差出スヘシ
- 第六 計算書中誤字等アリタルトキハ改描塗抹ヲ爲サス之ニ朱ノ二線ヲ畫シ正字ヲ其ノ傍ニ記入捺印スルモノトス
- 第七 仕拂計算書ニハ證據トシテ仕拂金ノ受取證書戻入ニ關スル證據書其ノ他契約書等仕拂金ニ關スル書類ヲ目ニ區分編號シテ添付スヘシ但シ概算拂ニ係ル書類ハ精算セシ月ニ於テ其ノ精算證書ニ添付スルモノトス

摘要	前期ヨリ越高	本期受高	本期拂高	残高	備考
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
契約保證金	0	0	0	0	本期中出納 吏現金受拂 仕譯下ノ知 シ
何々保證金	0	0	0	0	前期ヨリ越高 0
縣稅滯納處分ニ係 ル差押物件公賣代 金	0	0	0	0	前期中 受入高 0
他廳ノ委託ニ由ル 滯納處分ノ徵收金	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	計 0
合計	0	0	0	0	本期中金 庫へ拂込 高 前期へ越 高 0

明治何年上(下)半年間

雜部金受拂計算書

某廳 席

明治何年上(下)半年間雜部金受拂計算書面之通相違無之候也

廳解長官(職) 氏名 團

知 事 宛

明治何年何月何日

備考

第一

雜部金受拂計算書ハ雜部金受拂簿ノ結果ニ依リ調製スルモノトス但シ現金受拂仕譯ハ出納吏現金領收額整理簿ニ依リ之ヲ掲出スヘシ

第二

料紙ハ馨水引美濃紙トシ文字ハ改描塗抹ヲ禁ス但シ訂正ヲ要スルトキハ之ニ二線ヲ畫シ捺印スヘシ

○第五十號様式 ○用紙美濃紙

明治何年何月分

明治何年度何々(款)領收證書未到達明細書

某 廳 席

備考

集合仕拂命令ニ對スル債主ノ領收證書未提出ノモノアルトキハ本書ニ併記スルモノトス此ノ場合ニ於テ

第二編會計 第一章 通則

其ノ住所ノ記載ヲ要セス

明治何年度何々(款)領收證書未到達明細書

科	項	目	事由	金額	員	受取人
何々	何々	何々	何々代	○	○	何地
何々	何々	何々	何々	○	○	何所
何々	何々	何々	何々	○	○	何所 官(職)何
何々	何々	何々	何々	○	○	何地
計				○	○	何地

右之通有之候也

明治何年何月何日

仕拂命令者官(職)氏

名 宛

○第五十一號様式 ○用紙半紙

自明治何年何月何日 現金受拂計算書
至明治何年何月何日

一金何程
一金何程
一金何程

明治何年何月何日ヨリ越高
本期中受入高
本期中仕拂高
明治何年何月何日現在高

金何程

通 貨

金何程

(此ノ外書ヲ要スルハ縣金庫ニ限ル)

一金何程

明治何年何月何日回送中

金何程

何月何日拂出何金庫へ回送中

金何程

何月何日拂出何金庫へ回送中

右之通相違無之候也

明治何年何月何日

岐阜縣出納吏官(資金前渡ヲ受ケタル)(職) 氏

名 宛

又ハ

岐阜縣何金庫 宛

第二編會計 第一章 通則

第二編 會計 第一章 通則

検査員

官(職)氏

名宛

岐阜縣會計検査規程

(明治三十八年五月二十四日 岐阜縣訓令第四十九號)

知事官房 各 部
(郡)市役所 警 察 署

第一章 總則

第一條 本縣ノ經濟ニ關スル會計ノ検査ハ此ノ規程ニ依ル

第二條 本縣經濟ヨリ補助ヲ受ヘタル事業ノ會計ニ對シテハ此ノ規程ニ準據シテ検査スルコトアルヘシ

第二章 書類検査

第三條 歳入歳出及保管金品ニ關スル計算書類及證憑書類ハ第一部長之ヲ検査スヘシ

第四條 検査ノ事項ニ關シ必要アルトキハ(第一部長)ハ當該者ニ對シ審理書ヲ發スルコトヲ得

第三章 實地検査

第五條 實地検査ハ毎年度通常一回トス但シ必要ニ依リ臨時ニ検査ヲ行フコトアルヘシ

第六條 検査員ハ官吏吏員ノ中ニ就キ知事之ヲ命ス

第七條 検査員臨檢シタルトキハ當該者ハ何時ニテモ其ノ検査ニ應スヘシ

第八條 検査員ノ検査スヘキ事項左ノ如シ

- 一 歳入金ノ賦課徴收及其ノ取扱ノ當否
- 二 歳出金ノ仕拂及其ノ取扱ノ當否

三 財産ノ取得管理及處分ノ當否

四 保管金品取扱ノ當否

五 縣金庫及出納吏ノ帳簿及金櫃

六 物品出納吏ノ帳簿及物品

七 會計事務進捗ノ狀況及帳簿書類ノ整否

八 前各號ノ外必要ト認ムル事項

第九條 前條ノ外検査員ハ他ノ公金ヲ取扱フモノアルトキハ其ノ公金ノ會計ヲ併セテ検査スルコトヲ得

第十條 検査員ハ當該者ニ對シ検査上必要ト認ムル帳簿書類ノ提供ヲ求メ又ハ時宜ニ依リ事業ノ實況ヲ検査スルコトヲ得

第十一條 検査員ハ検査ノ事項ニ關シ當該者ニ對シ推問書ヲ發シ又ハ調書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十二條 検査員ハ會計事務滯滞セリト認ムルトキハ當該者ニ對シ直ニ其ノ整理ヲ求ムルコトヲ得

第十三條 會計ニ關スル書類ニシテ精査ヲ要スルモノアルトキハ検査員ハ當該者ノ承諾ヲ得テ之ヲ携帶歸廳スルコトヲ得

第十四條 検査員ハ検査報告書ヲ製シ検査ノ狀況及會計事務整理ノ得失其ノ他ノ顛末ヲ詳具シ(第一部長)ヲ經テ知事ニ提出スヘシ

検査員検査ニ臨ミ重大ノ事項ヲ發見シタルトキハ意見ヲ付シ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

●會計規則第三百三十六條等ノ検査其ノ他ノ 吏員ニ關スル規程

(大正十五年七月一日 岐阜縣訓令甲七十三號)

知事官房 内務部
學務部 警務部
支 廳 警 察 署

第二編 會計 第一章 通則

第二編會計 第一章 通則

二四二

大正十一年六月岐阜縣訓令甲第三十二號會計規則第三百三十六條第三百三十七條第三百四十六條ノ検査其ノ他ノ吏員ニ關スル規程左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 會計規則第三百三十六條第一項ノ検査員ハ左ノ官吏トス但シ特ニ検査員ヲ派遣シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一、支廳ニ於ケル出納官吏ニ對シテハ其ノ應勤務ノ上席屬

二、警察署(岐阜警察署ヲ除ク)ニ於ケル出納官吏ニ對シテハ支廳所在地ノ警察署ハ支廳勤務ノ屬其ノ他ノ警察署ハ其ノ

署勤務次席者但シ本號ノ屬ハ其ノ時々支廳長ニ於テ指定スヘシ

縣廳及岐阜警察署ノ出納官吏ニ對スル前項ノ検査員ハ其ノ時々之ヲ命ス

第二條 會計規則第三百三十七條ノ立會者及第三百四十六條ノ計算書調製者ハ其ノ出納官吏ノ事務ヲ補助スル上席者ヲ以テ之ニ充ツ

●會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件

(大正十一年五月三十日 大藏省令第四十三號)

會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件左ノ通之ヲ定ム

第一條 會計法規ニ基ク出納計算ニ關スル諸書類帳簿ニ記載スル金額其他ノ數量ニシテ「一」、「二」、「三」、「十」、「廿」、「卅」ノ數字ハ「壹」、「貳」、「參」、「拾」、「貳拾」、「參拾」ノ字體ヲ用ユヘシ

第二條 會計法規ニ基ク出納計算ニ關スル諸書類帳簿ノ記載事項ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

前項ニ規定スル諸書類帳簿ノ記載事項ニ付訂正、挿入又ハ削除ヲ爲サムトスルトキハ二線ヲ劃シテ其ノ右側又ハ上位ニ

正書シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍明ニ讀待ヘキ爲字體ヲ存スルコトヲ要ス但シ金錢又ハ物品ノ受授ニ關スル諸證書ノ數字

ハ之ヲ訂正ヲ爲スコトヲ得ス數字以外ノ事項ニ付訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ數字ヲ欄外ニ記載シ作製者

之ニ認印スルコトヲ要ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十三年大藏省令第二十一號ハ之ヲ廢止ス

●會計事務取扱方ニ付注意ノ件

(大正二年十一月十九日 第五二二七八號通牒)

收支計算書及證憑書類中從來提出ノ分不備ノ廉甚タ多キ向有之ヲ概記スレハ左記ノ如クニシテ右ハ取扱上ノ誤謬ニ出ツルモノアリト雖モ畢竟關係規程ニ基キ精密調査ヲ爲ササル結果ト被存候就テハ之ヲ不備ノ廉ニ對シ照會答辯等往復ノ手數ヲ要スルノミナラス之ニ伴フ經費モ亦不貲ニ有之候條爾後提出セラルヘキ分ニテハ左記各號ノ廉ハ勿論其ノ他充分調査ヲ盡ク提出相成候様致度此段及照會候也

收入計算書及附屬書類ニ關スル件

第一 收入計算書ハ會計細則第九十條(第四十四號様式)ニ依リ各經濟毎ニ調製科目ハ毎年發付セラルル歳入科目表ニ依リ整理シ會計規則第十條第一項ニ依リ翌月五日迄ニ提出セラルヘキ答ナルニ様式ニ違ヒ又ハ科目ヲ誤リ且期日ニ到達セサル向アリ

第二 計算書ニハ會計細則第九十條第二項ニ依リ雜收金調定内譯書、缺損金アリタルトキハ缺損金明細書過誤納ノ拂戻アリタルトキハ細則第九十七條ノ書類同第九十六條ノ證憑書類及會計規則第六十一條第二項ニ依リ金庫ノ月計對照表ヲ添付セラルヘキ答ナルニ往々添付漏ノ書類アリ

第三 計算書ハ式ノ如ク款毎ニ計金ヲ掲記シ經常及臨時部ノ合計ヲ記載終ニ總計ヲ掲記スヘキ答ナルニ項毎ニ計金ヲ記載シ又ハ經常、臨時ノ合計ヲ記載セサル向アリ

第二編會計 第一章 通則

二四三

第二編會計 第一章 通則

- 第四 計算書ノ金額誤記アリテ計算符合セサルモノアリ
 - 第五 減額及拂戻金ト雖モ墨書スヘキモノナルニ朱書セラルル向アリ
 - 第六 甲ノ科目ヘ收入スヘキモノヲ乙ノ科目ヘ誤テ收入シタルコトヲ發見シタルトキ更正スル場合ニハ本月ノ欄甲ノ科目ニ於テハ乙ノ科目ヨリ更正シタル分ヲ加算シタル金額乙ノ科目ニ於テハ甲ヘ更正シタル分ヲ減シタル金額ヲ掲記シ置カ
ルヘキモノナルニ乙ノ科目ニ於テ本月中拂戻ノ欄ニ更正金額ヲ掲記セラルル向アリ
 - 第七 計算書ノ數字ハ可成判明ニ記載方屢々注意セルモ尙判明ナラサルモノ往々アリ
 - 第八 雑收金調定内譯書ハ美濃判ノ規定ナルニ半紙ヲ使用セラルル向アリ
 - 第九 缺損金明細書ニ掲記シアル缺損ノ事由ヲ詳記スヘキ規定ナルニ簡單ニシテ果シテ缺損ト爲スヘキモノナルヤ否ヤ判
明シ得サルモノアリ
 - 第十 未收入内譯書中未納ノ事由ハ可成詳細ニ説明シ置カルヘキ答ナルニ甚タ簡單ナルモノ又前月ノ通リト記載セラルル
向アリ
 - 第十一 金庫ノ月計對照表ノ説明ハ式ノ如ク年月日ノ下ニ收入命令者ノ證印ヲ押捺スヘキモノナルニ殊更官職氏名ヲ記載
シテ押印セラルル向アリ又計算書ノ金額ト符合セサルモノアリ
 - 第十二 計算書ノ金額ト金庫ノ月計對照表ノ金額トハ符合スヘキモノナルモ若シ出納吏月末ニ於テ歳入金ヲ受領シ其ノ拂
込方翌月ニ涉リ或ハ更正等特別ノ事由ニ依リ相違スルトキハ其ノ旨計算書ノ末尾ニ朱記説明シテ提出セラルルコト
 - 第十三 收入未濟額内譯書中「何月中調定ノ分」トアルハ報告スヘキ月ノ前月分ヨリ順次廻リ記載セラルヘキ答ナルニ往々
反對ニ四月分五月分六月分順次記載セラルル向アリ
- 支出計算書ニ關スル件
- 第一 支出計算書ハ會計細則第五十一條(第四十六號様式)ニ依リ各經濟毎ニ調製科目ハ仕拂豫算委任令達ノ通記載シ會計
規則第二十四條ニ依リ翌月五日迄ニ提出セラルヘキ答ナルニ豫算科目ノ相違又ハ期日ニ到達セサル向往々アリ

- 第二 計算書ニハ會計細則第九十九條ノ證憑書類及會計規則第六十一條第二項ノ金庫月計對照表ヲ添付セラルヘキ答ナル
ニ過誤拂其他ノ返納金ノ定額戻入ニ係ル證憑書(或之ニ對スル證明書)又ハ金庫月計對照表添付漏ノモノ往々アリ
 - 第三 計算書ノ數字ハ可成判明ニ記載方屢々注意セルモ尙判明ナラサル向アリ
 - 第四 前月又ハ前期ヨリノ越高其他誤記アリテ計算符合セサルモノ往々アリ
 - 第五 戻入金ト雖モ墨書スヘキモノナルニ朱記セラルル向アリ
 - 第六 豫算ノ増減等アリタル場合ハ細則第四十六號様式ノ通り備考欄ニ其事由掲記セラルル答ナルニ記載ナキ向アリ
 - 第七 計算書ノ金額ト月計對照表ノ金額トハ誤謬更正等ノ場合ヲ除ク外符合スヘキ答ナルニ符合セサル儘添付セラルル向
アリ但シ符合セサル事由アルトキハ計算書ノ末尾ニ説明シ置カルコト
 - 第八 年度ノ始ニ於テ提出セラルル計算書中仕拂豫算委任令達額ハ將來本月中増ノ欄ニ掲記セラレタシ
 - 第九 仕拂豫算増額分ハ本月中増ノ欄ニ記載スヘキコトハ明ナルニ越高ノ欄ニ掲記セラルル向アリ
- 一般證書ニ關スル件
- 第一 證憑書中會計細則第百三條各號ノ事項具備セサルモノ往々アリ
 - 第二 計算粗漏ノ爲仕拂金額ト單價ニ依リ計算シタル金額ト往々符合セサルモノアリ
 - 第三 證書ノ金額ニ一、二、三或ハ廿、卅、ノ文字記載シアルモノ往々アルモ壹、貳、參、貳拾、參拾ノ文字ヲ記載セシ
メラルルコト
 - 第四 證書ノ事項ハ債權者ヲシテ記載セシメラルヘキ答ナルニ會計主任ニ於テ代書セル向アリ若シ止ムチ得サル場合ニ代
書ヲ爲スト雖モ金額ト氏名トハ本人ヲシテ記載セシメラルルコト
 - 第五 證書中文字及印影判明ナラサルモノ或ハ金額、但書、年月日等往々訂正シアルモ本人ノ訂正證印ナキモノアリ
 - 第六 受取人ノ住所又ハ收年月日記入漏往々アリ
 - 第七 應解長ノ專行シ得テル事項ニシテ長官ノ許可ヲ得タルモノハ會計細則第百四條ニ依リ認可ノ年月日及事由ヲ附記セ

第二編會計 第一章 通則

第二編會計 第一章 通則

- ラレヘキ答ナルニ往々計入洩ノモノアリ
- 第八 甲ノ科目ヨリ支拂フヘキモノヲ誤テ乙ノ科目ヨリ仕切セシコト發見セシ場合債權者ヨリ一旦返納セシメ更ニ仕切セラルル向アルモ右ハ單ニ仕切科目ヲ誤リタルノミニテ科目ナルモノハ債權者ニ何等關係ナク隨面全然誤拂ニアラサル以上ハ返納セシムヘキモノニアラス
- 第九 甲ノ科目ヨリ乙ノ科目ヘ仕切ノ更正ヲ爲シタルトキハ兩科目ノ證書中ヘ科目更正齊チ編入シ證書ノ表紙甲ノ科目ノ金額ハ乙ヘ更正シタル分チ控除シタル金額又乙ノ科目ノ金額ハ甲ヨリ更正ヲ爲シタル分チ加算シタル金額ヲ掲記スヘキモノナルニ一方ノミヘ編入シ又金額更正ナキ爲計算書ノ金額ト符合セサルモノアリ
- 第十 領收證書中ニ誤テ請求書ヲ編入送付セラルル向アリ
- 第十一 仕切證書ノ編纂方ハ會計細則第七條第二號ニ依リ款毎ニ一冊トナシ編纂スヘキ答ナルニ二款一冊トナシ或ハ經常部ト臨時部ト混合一冊トシテ提出セラルル向アリ
- 第十二 過誤拂ノ返納金ヲ定額ニ戻入セラレタルトキ證書トシテ提出セラルヘキ會計規則第九十九條第五號ノ金庫ノ領收濟通知書ニハ年度 科目又ハ定額戻入ノ文字掲記シ尙說明書添付スヘキモノナルニ之ヲ掲記又ハ添付セサルモノアリ
- 第十三 計算書提出ニ際シ領收證書ノ到達セサルモノアルトキニ會計細則第八條ニ依リ領收證書ノ未到達明細書ヲ計算書ニ添付シ一方仕切證書表紙ノ金額ハ證書未到達ノ分チ控除シタル金額ヲ掲記セラルルコト
- 第十四 會計細則第九十七條及第九十九條ノ證書類ハ同第七條ニ依リ左記様式ノ表紙ヲ附セラルルコト

(會計細則第九十七條ノ證書)

大正何年何月分過誤納金拂戻證書

縣稅(何々經濟名)

何(款)

何(項)

一金何圓何拾錢

何(目)

一金何圓

何(項)

何(目)

何(款)

一金何拾錢

何(項)

何(目)

證書紙數何枚

第何號(此番號ハ經濟毎ニ年度ノ始ヨリ順次通スルモノトス)

處 所 名

(會計細則第九十九條ノ證書)

大正何年何月分仕切(返納)證書

縣稅(何々經濟名)

何(款)

何(項)

一金何圓何拾錢

何(項)

何(目)

一金何圓

何(項)

何(目)

一金何拾錢

何(項)

何(目)

一金何圓何拾錢

何(項)

何(目)

一金何圓

何(項)

何(目)

合計金何圓何拾錢

何(項)

何(目)

證書紙數何拾何枚

第何號(此番號ハ款毎ニ年度始ヨリ順次通スルモノトス)

處 所 名

第二編會計 第一章 通則

第二編會計 第一章通則

應舎修繕ニ關スル證書ノ件

- 第一 土木建築ノ類ニシテ請負事業ニ係ルモノハ會計細則第百三條ニ依リ同第十三號ノ事項即チ仕様及竣功ノ要領、契約及竣功月日ヲ證書ニ附記スルカ又ハ之等記載シタル書面ヲ添付セラルヘキ答ナルニ記載又ハ添付漏往々アリ又競争契約或ハ隨意契約ヲ爲シタルモノニ對シ會計細則第九十九條第一二ノ書類添付ナキモノアリ
- 第二 長官ノ認可ヲ經テ施行セラレタル工事ニアリテハ會計細則第百四條ニ依リ認可ノ年月日及其ノ事由ヲ證書ニ附記セラルヘキ答ナルニ往々記入漏ノモノアリ
- 第三 構内地盤ヲ修繕シタル人夫賃ハ修繕費支辨ノモノナルニ雜給中ヨリ支出セラルル向アリ
- 第四 窓等ニ掛クル簾、日覆、窓掛、倉庫並押入等ノ錠鍵ノ如キハ修繕費支辨ノモノナルニ備品費ヨリ支出セラルル向アリ
- 第五 家屋ニ取付ケタル電燈、瓦斯、硝子燈及電鈴ノ取付費用ハ爾來總テ修繕費ヨリ支辨セラルルコト之ニ對スル修繕費亦同シ
- 第六 庭園樹木芝草等ノ買入植込刈込及石土砂代等ハ修繕費ヨリ支辨セラルルコト
- 第七 建物、庭園樹木ノ保護費構内地均掃等ノ費用ハ修繕費ヨリ支辨セラルルコト
- 第一 郡書記及學校教員等ニシテ俸給支給後昇給セシ者ニ對シ追給セラルル場合ニ國庫納金ノ算出額壹錢未滿ナルトキハ壹錢トシテ控除セラルヘキ答ナルニ之ヲ引去ラスシテ全額支給セラルル向アリ
- 第二 縣吏員職員其他俸給支給規則ニ依リ支給セラルヘキモノノ増俸ノ場合ハ規則第四條ニ依リ發令ノ翌日ヨリ計算支給セラルヘキ答ナルニ發令當日ヨリ計算支給ノ向アリ
- 第三 吏員職員及雇員ニアラサル者ニシテ月給ヲ受クル者退職又ハ死亡セシ場合其ノ月ノ給料ハ前項規則第五條末項ニ依リ日割計算シテ支出セラルヘキ答ナルニ全額支給セラルル向アリ
- 第四 月俸日割計算スル場合ハ前乘後除ノ方法ニ依リ計算セラルルコト

- 第五 列任官ニシテ休職ヲ命セラレタル場合ハ列任官俸給令第十四條第二項ニ依リ高等官俸給令第二十五條ヲ適用シ發令ノ當日迄日割計算ニテ當月分ノ俸給ヲ支給セラルヘキ答ナルニ往々全額支給セラルル向アリ
- 第六 新ニ任用セラレタル者ノ俸給及給料ノ證書ニ拜命月日尙日給者ニアリテハ就職月日ノ記載ナキモノアリ
- 第七 日給者缺勤マシトキハ會計細則第百三條第二號末項ニ依リ缺勤月日ヲ記載セラルヘキ答ナルニ缺勤日數ヲ記載セラルル向アリ
- 第八 縣吏員及職員ノ俸給支給方左ノ例ニ依リ取扱ハレタキコト

月俸拾五圓ノ職員ニシテ六月二十三日拾七圓ニ昇給シタルトキハ六月分ノ俸給ハ既ニ支給済ナルヲ以テ昇給ニ對スル分ノ日割計算ニテ左記ノ如ク支給ノコト

一金四拾六錢

内

現金支給高 金四拾四錢

縣納金引去高 金壹錢

又月俸拾五圓ノ者六月十日拾七圓ニ昇給シタルトキハ左記ノ如ク計算支給ノコト

一金拾六圓參拾參錢

- 現金支給高 金拾六圓拾七錢
- 縣納金引去高 金拾六錢
- 第九 巡查職務上ノ疾病ニ由リ其ノ職ニ堪ヘスシテ退職シタルモノ或ハ身體若ハ精神衰弱又ハ事務ノ都合ニ依リ職示退職ヲ命セラレタル者ハ給與令第十條但書ニ依リ其ノ月ノ俸給ハ全額支給シ得ルモ單ニ疾病又ハ身體若ハ精神衰弱等ニ依リ依願退職シタル者ハ十條本文ニ依リ日割計算ニテ支給セラルヘキモノナルニ全額支給セラルル向アリ

第二編會計 第一章通則

第二編會計 第一章通則

旅費ニ關スル證書ノ件

- 第一 出張ノ用務ハ可成詳細ニ掲記セシメラルヘキ答ナルニ單ニ事務打合又ハ事務視察トノミアリテ要領ヲ得サルモノアリ
- 第二 管外出張等特殊旅行ニ對シテハ會計細則第四百條ニ依リ證書ニ認許ノ年月日ヲ記入セラルヘキ答ナルニ記入漏ノモノ往々アリ
- 第三 旅行明細摘要欄ニハ御用地又ハ途中宿泊シタルトキハ其旨掲記セラルヘキ事ハ四十四年十二月二十六日五第三二九〇號通牒ニ依リ明カナルニ往々經過地ヲモ記載セラルル向アリ若シ經過地ヲ記載スル必要アルトキハ式ノ如ク備考欄ニ掲記セシメラルコト
- 第四 汽車旅行ト陸路旅行ト跨ルトキ旅行明細備考欄ニ何地何地間汽車乗用ナル旨掲記セシメラルコト
- 第五 旅費ノ證書中旅行月日、宿泊場所記入漏又金額ノ下ニ領收高ト記載スヘキヲ請求高ト記載シアル向アリ
- 第六 旅行明細ニ一旅行以上記載シタル場合ニハ一旅行毎ニ計里數ヲ記載シ最終ニハ一旅行毎ニ算出シタル端里數ヲ切捨テタル合計里數ヲ記載セシメラルヘキモノナルニ一旅行毎ニ計里數ヲ掲記セス又合計里數中へ全部ノ數里數ヲ合計シタルモノヲ記載シアル向アリ
- 第七 近距離宿泊ニ對シテハ特ニ宿泊ヲ要シタル事由ヲ詳細ニ説明シ置カルコト
- 第八 削除
- 第九 縣吏員職員其他旅費規則ニ依リ日額旅費ヲ受クル者一日ノ旅行陸路六里未満鐵道四十八哩未満ニシテ日歸リノ場合ハ規則第十七條ニ依リ普通旅費(但同條但書ノ場合ヲ除ク)ヲ支給スヘキモノナルニ日額旅費支給セラルル向アリ
- 第十 巡查部長派出所及駐在所詰巡查ニシテ出張中或ハ他ニ出張中管外へ出張ヲ命ジ現場ヨリ直ニ旅行セシメ又ハ本署へ歸署復命セシメ用務終了セシ者ニ對シテハ其ノ事由ヲ證書ノ備考欄ニ説明シ置カルコト
- 第十一 月額旅費ヲ日割計算スル場合ハ前乗後除ノ方法ニ依リ計算セラルルコト

第十二 旅費ノ請求ニ付テハ四十年一月縣訓令第一號ニ依リ歸廳後三日以内ニ請求セシメラルヘキ答ナルニ旅行月日ト旅費受領月日ト對比スルトキハ甚ダシク時日ヲ經過シ居ルモノアリ

第十三 車馬賃及鐵道賃ニアリテハ最近里程及哩數ニ依リ計算支給セラルヘキ答ナルニ往々之ニ反スル向アリ

第十四 病虫害豫防委員ヲシテ出張セシメタル場合ニ於テ旅行ノ全部ニ涉リ車馬賃ノ支給ヲ爲スハ病虫害豫防ノ手續ヲ爲スニ當リ指示打合等急行巡回ヲ要シ特ニ車馬乗用ヲ命ジタルトキ或ハ上司隨行ノトキニ限リ其他ハ委員規程第四條第一號ニ依リ任地ヨリ最初ノ御用地迄最終ノ御用地ヨリ任地迄ノ里程ニ對シ車馬賃支給セラルヘキ答ナルニ往々甲乙御用地間ノ里程ヲモ通算シテ支給セラルル向アリ

雜給ニ關スル證書ノ件

- 第一 人夫賃ノ證書ニハ會計細則第三百三條第四ノ事項具備スル答ナルニ單ニ人夫賃トノミアリテ如何ナル用務ニ使用セシヤ判明ナラサルモノ又何人分トノミアリテ備入月日ヲ記入ナキモノアリ
- 第二 人夫請負金ノ證書ニシテ受領ノ文字ナク恰モ自ラ備ハレタル如ク記載シアル向アリ
- 第三 警察署ニ於ケル非常馳付人足受領手當金ノ如キハ契約ニ依リ始メテ仕拂ノ義務ヲ生スヘキモノニ付給與スルノ必要アルトキハ契約書中ニ手當金ヲ給與スル事項ヲ掲記セラルヘキ答ナルニ該書中ニ何等契約事項ナク右ハ三十六年三月三十一日警察部長指示第七號ニ依リ直ニ仕拂ノ義務ヲ生スヘキモノト誤解ノ向アリ
- 物品代ニ關スル證書ノ件
 - 第一 物品ノ購入ニ對シ長官ノ認許ヲ受ケタルモノハ會計細則第四百條ニ依リ認許ノ年月日及事由ヲ附記シ置カルヘキ答ナルニ往々之カ記入ナキモノアリ
 - 第二 物品ノ員數、受入月日、單價、領收月日、債主ノ住所氏名記入漏收入印紙ノ貼用或ハ消印漏等往々アリ
 - 第三 物品中例ヘハ戸棚、卓代金ノ如キ單ニ一棚一本代卓一脚代トノミアリ又蒲團修繕ノ如キ蒲團何枚修繕料トノミアリテ他ニ何等説明ナキモノアリ之等ハ大體其ノ代金或ハ料金ノ適當ナルヤ否ヤヲ判斷シ得ル程度即チ概要左記ノ如ク附記

第二編會計 第一章通則

第二編會計 第一章通則

説明シ置カルコト

- 戸棚ニアリテハ檜或ハ樅材ニシテ長何間巾何尺等卓ニアリテハ檜或ハ樅材ニシテ春慶塗長何間巾何尺等藩圍修繕ニアリテハ木綿織半反何十何錢足シ綿何百何十匁、何圖何拾錢、洗濯賃何拾何錢、裁縫賃何拾何錢等
- 第四 物品代ニ付テハ一個何程或ハ一圓ニ付何程トシ契約ニテ購入セシモノハ會計細則第三百三條第九號ニ依リ單價ヲ掲記シ置カルヘキハ勿論ナルモ數個ニ付價格ヲ定メタルモノハ其ノ個數ニ對スル價格ヲ記載其ノ旨附記セラルル答ナルニ殊更一個ニ對スル價格ヲ算出記載セラルル向アリ
- 第五 常用品ニアラスシテ用途ノ判明シ難シト認メラルル物品ニアリテハ其ノ用途ヲ説明シ置カルヘキ筋ノモノナルニ之ヲ説明ナキモノアリ
- 第六 官報、新聞及雜誌代ノ如キハ受入所屬年度ヨリ支出スヘキ答ナルニ前年度所屬ノ分チ後年度ヨリ支出セラルル向アリ
- 第七 電鈴等ニ要スル乾電池ハ消耗品費ヨリ支辨セラルルコト
- 第八 ストーフノ多クハ煙突ヲ家屋ニ取付クルカ爲修繕費支辨ノ如ク思料セラルル向アルモ性質上備品費ヨリ支出セラルヘキモノトス

通信運搬費ニ關スル證書ノ件

- 第一 運搬ニ關スル證書ニハ會計細則第三百三條第十一ニ依リ其ノ運搬物ノ名稱發着場所路程斤量其ノ他賃金算出ニ要スル事項ヲ掲記スヘキ答ナルニ往々具備セサルモノアリ
- 第二 電話料ノ證書ニ添付シアル仕譯書ニ記載ノ通話件名簡單ニシテ要領ヲ得サルモノ、通話料金半額ノモノニ對シ全額ヲ拂或ハ仕譯書ヲ添付セラルル向アリ
- 第三 電話料ノ仕譯書ハ將來左ノ式ニ依リ調製添付セラレタキコト

電話料仕譯書

通話月日	通話事件	通話先	通話料	通話料呼出金
何月何日	何々之件	何郡役所	一圓	〇・一二五
何月何日	何々之件	何警察署	二	〇・二〇〇
計				〇・三二五

第四 切手及印紙類賣捌人ヨリ徴スル切手及印紙代金五圓以上ノ受領證書ニ印紙貼用ナキモノアルモ右ハ印紙稅法中別ニ免除スヘキヲ以テ貼用セシムル方適當ナリ

第五 内務部電話中第六百四十番ハ縣費支辨ニ付料金半減ナルモ一番及百〇四番ハ國費支辨ナルヲ以テ料金額徴收セラルルニ依リ第六百四十番へ通話方大正元年八月三日五第一七號ヲ以テ通牒シアルモ往々右番號使用ナキ向アリ

雜費支辨ニ關スル證書ノ件

- 第一 薪挽割方ノ請負金ハ人夫賃ト云フヲ得サルニ依リ雜費ヨリ支出セラルヘキ答ナルニ雜給ヨリ支出セラルル向アリ
- 第二 燈火用ノ瓦斯消費及メートル使用料或電燈料ハ雜費ヨリ支辨セラルルコト
- 第三 巡查其ノ警察署内ニ於テ交替セシ場合雜費月額ハ規別第五條但書ニ依リ前任者ハ事務引繼ノ前日迄支給セラルヘキ答ナルニ其當日迄支給セラルル向アリ
- 第四 巡查ノ宿料ハ就職ノ日ヨリ計算支給セラルヘキ答ナルニ就職ノ翌日ヨリ計算セラルル向アリ
- 借地料ニ關スル證書ノ件
- 第一 樹苗圃用及學校敷地トシテ借入レタル地料金ニ對スル證書ニ反別ニ誤記、借入期間等記入漏アリ
- 第二 前項借地料ノ證書ニ往々印紙貼用シアル向アルモ土地會社ノ如キヨリ借入レタル場合ハ格別營利ヲ目的トセサル者

第二編會計 第一章通則

第二編會計 第一章 通則

ヨリ借入レタル土地ニ對スル料金ノ證書ハ印紙稅法第五條ノ營業ニ關セサル受取書ニ該當シ印紙ノ貼用ヲ要セサルモノト思料ス

現金出納計算書及證書ニ關スル件

第一 現金出納計算書ハ會計細則第九十二條ニ依リ廳長ヲ經テ提出セシメラルヘキモノナルニ出納吏ヨリ直接提出セラル向アリ

第二 現金受入決議書中如何ナル金額ナルヤ判明ナラサルモノ、受入月日記入漏又單ニ何某外人分縣稅差押金トノミアリテ別ニ明細書ノ添付ナク爲ニ外人トハ何人ヲ指シタルヤ判明セサルモノアリ

第三 會計細則第一百一十一條ニ依リ命セラレタル検査員ノ検査報告書ハ同細則第一百七條ニ依リ廳長ヲ經由スヘキ答ナルニ検査員ヨリ直接提出セラル向アリ

巡查被服費ニ關スル證書ノ件

第一 被服料返納ノ場合ハ支給スヘキ金額ヲ算定シ(錢位未滿ノ金額ハ三十九年縣令第四十四號ニ依リ切捨)既渡金ヨリ之ヲ引去リタル殘額ヲ返納セシムヘキモノナルニ使用殘額ニ對スル金額ヲ算出返納セシメラル向アリ

第二 被服料ノ領收證書及定價戻入ノ説明ニ拜命年月記入漏往々アリ

第三 被服料支給上支給期ノ異例ナルモノニ對シテハ其ノ事由ヲ揭記シ置カルヘキ答ナルニ往々記入漏ノモノアリ

第四 巡查ニシテ退職・休職・轉職死亡又ハ他縣へ出向ヲ命セラレタルモノニシテ該月中出勤セサルトキハ其ノ月ニ對スル被服料ハ給與品及貸與品支給細則第四條ニ依リ支給シ得サルモ其ノ他ノ場合ニアリテハ例へ全月缺勤シタルモノト雖モ支給シ差支ナキニ往々支給セラル向アリ

會計帳簿登記方ノ件

(大正五年四月十三日 五第七二五號通牒)

縣稅其ノ他歳入歳出内譯簿ノ摘要ハ本縣會計細則規定ノ様式ニ依リ事由詳記ノ處請求書及收支調書等ノ原議アリテ完全ニ保存シ得ルモノハ簡單ニ記載スレハ手數ヲ省略シ得ラル儀ニ付追テ様式改正ノ見込ニ候得共歳出内譯簿ハ左ノ例ニ依リ又歳入内譯簿ハ歳入簿ノ記載例ニ準シ登記相成リ差支無之候條此段及通牒候

何月分誰外何人分	署	科	命令第何號	ヨリ第何號迄
(一人別ニ仕拂命令發行ノ場合)		同總代	何	某 渡
命令第何號		(總代渡ノ分)		
何ノ某 渡	署	科	命令第何號	
何ノ某戻入			金庫通知書第何號	

縣稅會計事務取扱方注意ノ件

(大正四年九月一日 稅務主任會議提出)

稅務會計事務ノ整頓ニ就キテハ本素相當注意セラレツツアルコトハ認メラルルモ今尙不整頓ノ向アリ是レ主トシテ取扱者カ取扱事務ニ關スル法規通牒等ノ研鑽充分ナラスシテ輕忽事ヲ處スルニ因ルモノト認メラル殊ニ毎月提出ニ係ル收支計算書並ニ附屬證書類中會テ注意方照會シタル事項ヲ數回繰返シ或ハ會計事務取扱上ノ細綱トモイフヘキ大正二年十一月十九日五第二七八號通牒ニスラ今尙副ハサルカ如キアルコトハ甚々遺憾トスルトコロナリ依テ將來銳意改善ノ實ヲ擧ケラレントコト切望ス

第二編會計 第一章 通則

收入

- 一 縣稅中地位等級ニ依リ賦課スルモノニシテ町村決議額ト實際徵收ト符合セルモノ往々アリ
- 一 縣稅課稅上ニ關シ取扱主任間ノ連絡ヲ缺キ例ヘハ指令其他ノ書類ヲ第一課ヨリ第二課稅務係ニ回付セサル爲メ縣稅賦課洩其ノ他錯誤ニ陥ルコト往々アリ
- 一 縣稅規則第二條第三項ニ該當セサル轉地或ハ轉業者ヨリ税金ノ差額ヲ増徴スル向アリ
- 一 營業開始ノ月日ニ注意セスシテ郡役所ノ受付月日ニヨリ課稅スルタメ税金徵收洩ト認メラルル向往々アリ
- 一 縣稅檢査員ノ檢査證簿本記載ノ營業開始年月日ヲ注意セサル爲メ週及賦課スヘキ税金賦課洩ヲ生スル場合夥ナカラス
- 一 營業臺帳中工業ノ内職工、理髮人、遊藝人、藝妓、酌婦、漁業、雜職漁等縣稅賦課上年齡ヲ必要條件トナスモノニ生年月日記載ナキモノ或ハ單ニ所謂數ヘ年ノミヲ記載シタルモノアリ
- 一 縣稅取締規則施行手續第七條ノ縣稅ヲ免除スヘキ土地ノ臺帳ノ設備完全ナラサル向アリ
- 一 營業屆書ニ縣稅賦課上必要條件タル事項記載ナキモノヲ受理シアル向アリ例ヘハ飲食店屆書ニ客間ノ有無、理髮人屆書ニ甲乙種類及床ノ有無、演劇興業屆書ニ完設假設ノ區分及定員漁業屆書ニ所得稅納付ノ有無及地租納額市場屆書ニ定期臨時ノ區分養蜂屆書ニ巢礎ノ數等ノ事項ノ記載ナキヲ以テ正當ノ賦課ヲナシ得サルニ拘ラス漫然賦課ノ手續ヲナシタルモノアリ又船稅賦課上船體檢査ヲナシタルヤ否ヤノ判明セサルモノアリ
- 一 稅務署ヨリ國稅營業失格者ノ通知ヲ受ケタル場合ハ直ニ縣稅賦課スヘキヤ否ヤヲ調査相當處分スヘキニ往々其ノ手續緩漫ニ流レ或ハ漫然廢業ト同一處置ヲナシタルカ如キ嫌アル向アリ
- 一 藝妓十五歳未満ヨリ十五歳以上ニ移リタルモ依然トシテ十五歳未満トシ藝妓稅、藝妓屋稅ヲ賦課シツツアル事往々アケ常ニ遺漏ナキ整理ヲ遂ケラレタシ
- 一 屠宰稅賦課上年度末ニ至リ前納ニ係ル税金ノ殘額ト其ノ年度内屠殺頭數トヲ明確ナラシムル目的ヲ以テ相當證據ヲ致

- 一 毎年提出スル縣稅調定額計算書ニヨリ狩獵稅賦課洩ヲ發見スルコト夥カラス右ハ年度末ニ於テ爲念當該警察官署ニ就キ免許人員ヲ再調年度内ニ於テ課稅ヲ了スヘキ様注意セラレタシ
- 一 法人稅賦課方ニ就キテハ後ニ國稅營業稅附加稅及所得稅附加稅ニ於テ述フルカ如ク一町村内課稅標準集計額ニヨリ出町村ニ賦課セラルル様取扱ハレタシ
- 一 屠畜檢査ノ結果不合格ニ依ルモノニ屠畜檢査手数料ヲ賦課セサル向アリ
- 一 國稅營業稅附加稅ハ縣稅規則第六十二條ニヨリ國稅ノ前後毎ノ納額ニ當該年度ノ縣稅賦課率ヲ乘シタル算出額ヲ徵收スヘキモノナルニ國稅ノ年稅額ヲ二分シ之ニ課率ヲ乘シ或ハ國稅年稅額ニ課率ノ二分ノ一ヲ乘シタル算出額ヲ徵收スル方如キ違法ノ取扱ヲ爲ス向往々アリ
- 一 國稅所得稅(第三種)附加稅ハ縣稅規則第十三條ノ二ニヨリ國稅ノ年額ニ縣稅ノ課率ノ二分ノ一ヲ乘シ算出賦課スヘキモノナルニ豫メ國稅額ヲ二分シ之ニ縣稅ノ課率全額ヲ乘スル等違法ノ取扱ヲナス向往々アリ
- 一 國稅所得稅(第一種)附加稅收入年度ハ縣稅規則第十三條ノ二但書ニヨリ國稅ノ決定ノ日ノ屬スル年度ニヨリ區分セサルヘカラサルニ國稅ノ課稅標準タル所得金額ノ生スル事業年度ノ屬スル年度ニヨリ區分スル向往々アリ
- 一 國稅營業稅及國稅所得稅附加稅賦課ハ
 - (イ)各町村國稅集計額ニヨリ算出シ之ヲ町村ニ賦課シ町村ニ於テハ一人別算出ノ結果増減ヲ生シタル場合報告セシメ處理スルモノトス
 - (ロ)郡役所ニ於テ附加稅一人別算出額ノ集計額ヲ町村ニ賦課スルモノトノ二様ノ取扱ヲナシ居レルモ(イ)ノ方法ニヨレハ町村ヨリ増減報告ヲ提出シタル際該増減ノ適否調査上勢ヒ一人別ノ算出ヲ要スヘク結局町村ヨリ増減報告ヲ徵スルノ手数ヲ増スノミ寧ロ(ロ)ノ方法ニヨルノ安全ニシテ失フ所夥ナキニ如カス依テ取扱方ノ統一ヲ期スル爲メ(ロ)ノ方法ニ據ルヘキ様希望ス
- 一 督促狀發付及滯納處分着手ノ遲速如何ハ滯納ノ惡弊矯正上至大ノ關係ヲ有スル事項ナリ

第二編會計 第一章通則

- 一 收入計算書及附屬書類編冊方ニ就キテハ客年八月五日第一六四九號ヲ以テ通牒セラレタルニ不拘之ニ副ハサル向屢屢アリ本件ハ一見些事タルカ如キモ本廳ニ於テノ調査進行上須要ナル事項ニ付將來必ス式ノ如ク編冊セラレタシ
- 支 出
- 一 支拂豫算ニ増減或ハ流用等ノ事故ヲ生シタル場合ハ支出計算書備考欄ニ相當記載スヘキ筈ナルニ是カ記載ヲ爲ササル向アリ(會計細則附屬第四十(六)號様式参照ノコト)
- 一 律給々料等ヲ各人毎ニ支拂ヲ爲ス向アリ右ハ受取代人ヲ定メシメ支拂ヲナストキハ事務簡捷上得ル所少ナカラサルヘシ
- 一 旅費支拂證書調製方ニ就キテハ大正十二年十一月十九日五第二二七八號通牒旅費ニ關スル證書ノ件ニヨリ詳細明示シアルニ今尙改善セス速式ノ旅行明細ヲ認ムル事尠ナカラス
- 一 旅費支給上里程或ハ哩程、日常等計算方及旅費支給方ニ就キ會計細則第三百三條第三號、明治十年一月十六日日本縣令第一號、明治四十四年十二月二日五第三〇七八號通牒、大正二年十二月二十六日五第二四五七號通牒等ニ據ラサルモノ及停車場驛名カ他町村ナルニ心付カスシテ驛名ト同一町村ヲ基點或ハ終點トシテ里程計算スルカ如キコト往々アリ
- 一 病蟲害豫防委員出張ニ對シ日當支給方ハ全旅行里程ニヨリ旅費規則第八條ヲ適用スヘキモノナルニ車馬賃ノ支給ヲ受ケサル分ヲ控除シタル里程ニヨリ旅費規則第八條ヲ適用スル向アリ
- 一 米穀検査員管内ノ出張ニシテ任地ヨリ陸路三里未滿ノ旅行ニシテ出張ノ當日歸着シタル場合ニシテ車馬賃ヲ支給セラレルハ大正二年十二月九日四第九一八七號通牒第三項但書ニ該當(米券倉庫及一回五十(俵以上)ノ移出米格付)スル場合ノミナルニ往々産米検査其他米穀検査規則第五條第二項ニヨラサル用務ニテ出張シタル者ニ對シ車馬賃ヲ支給スル向アリ
- 一 會計検査ノ際出張命令簿ト旅費支拂證書トヲ對査スルニ用務地旅行月日等相違スルモノ尠ナカラス右等ハ支拂ヲ爲ス際充分照査ヲ遂ケ執行セララルヘシ

縣費、郡費、其他各種公共團體ヲ兼帶出張シタル者ニ對シテ各經濟ヨリ各別ニ旅費ヲ支拂ヒタルモノ實地検査ノ際發見スルコト往々アリ是等モ旅費支拂ノ際細心ノ注意ヲナシ執行セラレタシ

備品ニシテ縣費、郡費其ノ他各種團體所屬區分明確ナラサル向アリ右ハ適當ノ標記ヲナシ置カレタシ

(削除)

消耗品受拂上同種目ノ單位稱呼統一ヲ缺キ或ハ其ノ都度需用高ト認メ難キ多數ノ物品ヲ支拂交付スル等取扱方適當ナラサル向アリ

支拂證書ニ日給者ノ給料支給上必要條件タル就職月日記載方ニツキテハ大正二月十一月十九日五第二二七八號通牒俸給及給料ニ關スル證書ノ件第六ニ明示シアルニ不拘依然記載セサル向アリ

職員小使ヲ間ハス總テ俸給々料ヲ受ケル者増給ノ場合給額算定上必要條件タル増給發令年月日記載シアラサル向アリ支拂證書中受領者ニ於テ記載スヘキ筈ナキ種々ナル事項ヲ記載シタルモノアリ例ヘハ「某所不潔ニ付掃除人夫賃」某所備付品何々修繕」「何々印刷用白紙」等ノ如シ是レ支拂當務者カ受領者ノ代筆ヲナス結果生シ易キ弊ナリト思惟セララル右「某所不潔」某所備付品何々印刷用白紙」等ノ事項ハ支拂當務者カ朱書説明スヘキ性質ニ屬スヘキモノナリ

明治四十二年十一月十八日第一四〇三五號通牒ニヨリ内務省ヘ長距離電話ヲ以テ通話スル場合ハ六百四十番ヲ使用スヘキ筈ナルニ往々他ノ電話ヲ使用スル向アリ

大正三年十月遞信省令第三十八號ヲ以テ電話規則ヲ制定セラレ同年十二月ヨリ通話時間ハ關係電話回線ノ接續ヲ爲シ通話ヲナシ得ル状態ニ置キタル時刻ヨリ起算セラルルニ付電話使用ニ就キテハ經費節約上相互注意セラレンコトヲ望ム物品會計規則第二十三條ニ定メラレタル物品所在口譯簿修繕品ノ整理簿貸與品及毀損品ノ書留等物品其他ノ整理補助簿ノ設備ナキモノ或ハ設備シアルモ完全ナル整理ヲ遂ケサル向アリ

町村交付金算出ノ根據タル町村取扱金高ニ誤謬アル向往々アリ

第二編會計 第一章通則

- 一 加俸資金支拂證中受領人ノ資格(本科正教員准(教員等ノ區分)及支拂チナスヘキ法令ノ條項(小學校教員加俸令第七條(第何項該當トスルカ如シ)等加俸支拂上必要條件タル事項ノ記載ナキモノ往々アリ)
- 一 支出計算書及附屬書類編冊方ハ收入ノ部ニ於テ述ヘタルカ如ク客年八月五日五第一六四九號通牒ノ式ニ據リ編冊セラレタシ
- 一 支出計算書ニ記載ノ計數違算誤記アリテ照覆ヲ重マル場合少ナカラス右ハ淨書後必ス校合念算チナシタル上提出セラレタシ

●各種團體ニ屬スル會計事務取扱方ニ關スル件

(大正十年一月二十二日)
會第一五二號

從來會計検査ノ實況ニ鑑ミルニ各種團體ニ屬スル會計事務ノ取扱方往々適當ナラサル向有之候ニ付今後會計検査ノ場合ニ於テハ尙一層嚴密ニ検査セシムヘク候條爾後左記要項ニ依リ完全ニ整理セシメ不都合之無様特ニ御注意相成度依命此段及通牒候

- 一 現金出納簿ヲ設ケ出納ノ一切ヲ登記スルコト
- 一 收入簿、支出簿ヲ設ケルコト(但シ歳入歳出ノ豫算ナク單純ナルモノハ現金出納簿一冊ヲ以テ整理スルモ差支ナシ)
- 一 收入票帳ヲ設ケル必要アルモノハ之ヲ設ケルコト
- 一 收支證憑書類ハ收支ノ順序ニ依リ完全ニ整理スルコト
- 一 現金ハ必ス郵便貯金若ハ確實ナル銀行ヘ預入ルルコト但シ預金帳ハ各團體各別トシ速ニ預入ノ手續チナスコト

- 一 預金帳及預金引出ニ使用スル印章ノ保管ニ注意セララルコト
- 一 基本財産ノアルモノハ完全ナル基本財産臺帳ヲ設ケルコト
- 一 基本財産タル有價證券ハ可成郵便官署ヘ保護預クテナスカ又ハ堅牢ナル金櫃中ヘ格納シ置クコト
- 一 定期又臨時ニ検査ヲ執行シ出納簿ト預金現在高ト照合スルコト

●會計検査院法第十六條委託検査ニ係ル計算ノ検査及責任解除ニ關シ其ノ検査取扱順序

(明治三十五年二月廿七日)
送第二六四號會計検査院長通牒

委任検査取扱順序

- 一 計算書ニ對シ全部正當ト判決シタルトキ又ハ辨償責任アリト判決シ其辨償了了シタルトキハ出納官吏ニ對シ第一號書式ニ依リ認可狀ヲ交付スヘキコト
- 二 検査ノ成績ハ第二號書式ニ依リ年度經過後六ヶ月以内ニ會計検査院ニ報告スヘシ若シ期間ニ至リ檢査未完了ニ係ルモノアルトキハ其ノ事由及完結期限ヲ報告シ爾後結了ニ隨ヒ其ノ成績ヲ報告スヘキコト
- 三 會計検査院法第二十四條ニ依リ再審事項アルトキハ其ノ事實ヲ詳記シタル申報書ニ關係書類ヲ添付シ直ニ會計検査院ニ提出スヘキコト
- 四 物品會計規則第十八條ノ二ニ依リ帳簿ヲ以テ證明セシメタル場合ニ於テハ検査官吏該帳簿ノ末尾ニ検査済ノ旨及其年月ヲ記入シ署名捺印スヘキコト

(書式略)

● 検査及責任解除方ノ件

(明治二十七年四月六日
送第三一六號會計検査院長通牒)

會計検査院ハ會計検査院法第十六條ニ依リ左ノ各部局ニ屬スル歳入歳出外現金出納計算ノ検査及責任解除ヲ明治廿五年度以降府縣廳ニ任託ス

- 一 某府縣監獄署 (三十六年送第四二七號ニテ委託ヲ解カル)
- 二 同上各警察署其ノ他各部局

● 保證金並之ニ代フル有價證券取扱方

(大正十五年七月一日
岐阜縣訓令甲第八十五號)

本縣ノ經濟ニ屬スル工事及物件ノ賣買貸借等ニ關スル保證金並之ニ代フル有價證券ノ取扱ヲ本縣官吏吏員職員ヨリ請求シタルトキハ現金ハ岐阜縣會計細則第四章有價證券ハ岐阜縣物品會計規則第二十九條ノ規定ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

● 岐阜縣會計規則第三十四條ニ依ル有價證券ノ種類及價格

(大正二年五月二十八日
岐阜縣告示第百六十一號)

大正九年二月告示第四五〇號改正

明治三十四年十月岐阜縣令第四十號岐阜縣會計規則第三十四條ニ依ル有價證券ノ種類及價格左ノ通定ム

- 國債 證 券 (四分利附額面百圓ニ付七拾圓
五分利附額面百圓ニ付八拾圓)
- 府縣市債 證 券 (五分以上利附額面百圓ニ付七拾圓
六分以上利附額面百圓ニ付八拾圓)
- 勸業 債 券 (四分五厘以內利附額面百圓ニ付七拾圓
五分以上利附額面百圓ニ付七拾五圓)
- 日本興業銀行債券 (四分以上利附額面百圓ニ付七拾圓
五分以上利附額面百圓ニ付八拾圓)
- 濃飛農工債券 (五分五厘以上利附額面百圓ニ付七拾圓
六分以上利附額面百圓ニ付八拾圓)
- 拓殖 債 券 (五分以上利附額面百圓ニ付七拾圓
六分以上利附額面百圓ニ付八拾圓)

● 政府ニ納ムヘキ保證金其他ノ擔保ニ充用スル

(明治四十一年十一月二十八日
勅令第二百八十七號)

● 國債ノ價格ニ關スル件

明治四五年六月勅令第一三六號改正

政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債・帝國鐵道會計法第二條ノ二ノ證券及大藏省證券ノ價格ハ其ノ債權金額ニ依ル

明治三十八年勅令第二十號ハ之ヲ廢止ス

●證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル件

(大正五年三月六日)
法律第十號

- 第一條 租稅其ノ他ノ政府ノ歳入ハ命令ノ定ムル所ニ依リ證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得但シ印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納付スヘキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 前條ノ規定ニ依リ納付シタル證券ニ付支拂ナカリシトキハ命令ヲ以テ定メタル場合ニ限リ初ヨリ納付ナカリシモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル證券ノ處分ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 前項ノ規定ニ依リ關稅又ハ噸稅ヲ初ヨリ納付ナカリシモノト看做シテ徵收スル場合ニ於テ之ヲ納付セサルトキハ内國稅徵收ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第三條 本法ニ依リ證券ヲ受領シタル市町村ハ證券ニ屬スル權利ヲ行使シ現金ヲ國庫ニ送付スル責任アルモノトス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ證券ヲ國庫ニ送付スルコトヲ得
- 市町村其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ證券金額ノ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サルトキハ其ノ事實ヲ具シ政府ニ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得
- 前項ノ申出アリタルトキハ政府ハ事實ヲ審査シ市町村ノ責任ヲ免除スルコトヲ得
- 第四條 本法中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ政府ノ歳入ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(同年十二月勅令第二百五十四號ヲ以テ六年一月一日ヨリ施行)

●證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律施行細則

(大正五年十二月二十一日)
大藏會令第三十二號

- 第一條 證券ヲ以テ租稅其ノ他ノ歳入金ヲ納付セムトスル者ハ其ノ證券ノ裏面ニ記名捺印シ指定ノ場所ニ之ヲ納付スヘシ納稅告知書、納入告知書、納付書又ハ拂込通知書ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ之ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第一條ノ二 無記名國債證券ノ利札ハ當該利札ニ對スル資本利子稅ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ納付金額ト爲スヘシ但シ資本利子稅法第五條第一號ノ規定ニ依リ資本利子稅課セラレサルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 出納官吏(出納員ヲ含ム以下同シ)、日本銀行又ハ市町村(北海道及沖繩縣ノ區、朝鮮ノ府、臺灣ノ區長ヲ含ム以下同シ)ニ於テ證券ヲ受領シタルトキハ歳入金ノ領收證書、歳入徵收官ニ對スル領收報告書又ハ領收通知書ニ「證券受領」ノ印章ヲ捺捺スヘシ歳入金ノ一部分ヲ證券ヲ以テ受領シタル場合ニ於テハ其ノ證券金額ヲ附記スルコトヲ要ス
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ受領シタル證券中前條ノ規定ニ依リ資本利子稅ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ納付金額ト爲シタル無記名國庫證券ノ利札アルトキハ「國債利札」ノ印章ヲ捺捺シ其ノ納付金額ヲ附記スルコトヲ要ス
- 第三條 受領シタル證券ハ遲滞ナク其ノ支拂人ニ呈示シ支拂ノ請求ヲ爲スヘシ但シ出納官吏又ハ市町村ノ受領シタル證券ニシテ左記各號ノ要件ヲ具フルモノハ其ノ裏面ニ第一號様式ノ朱印ヲ捺捺シ第二號様式ノ仕譯書ヲ添附シテ之ヲ日本銀行ニ拂込又ハ送付スルコトヲ得
- 一 持參人ニ支拂ハルヘキモノニシテ其ノ支拂場所カ日本銀行本店、支店又ハ代理店所在地ニ在ルモノ
- 二 日本銀行ニ到達後呈示期間又ハ有效期間ノ滿了迄ニ三日以上ノ餘裕アルモノ
- 出納官吏支拂保證ヲ要セサル旨ノ承認ヲ得タル納人ヨリ支拂保證ナキ小切手ヲ受領シタル場合ニ於テ之ヲ日本銀行ニ拂

込マムトスルトキハ其ノ裏面ニ「無保證承認」ノ朱印ヲ押捺スヘシ
第四條 出納官吏ノ拂込又ハ市町村ノ送付ニ係ル證券中前條規定ノ印章ヲ押捺セサルモノアルトキハ日本銀行ハ之方受領
ヲ拒絶スヘシ

第五條 大正五年勅令第二百五十六號第二條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ直ニ其ノ支
拂ナカリシ金額ニ相當スル領收濟額ヲ取消スヘシ領收濟額ヲ取消シタル出納官吏又ハ日本銀行ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ歳入
徴收官(分掌官)ニ報告スルコトヲ要ス

出納官吏ノ拂込又ハ市町村ノ送付ニ係ルモノニ付領收濟額ヲ取消シタルトキハ日本銀行ハ直ニ其ノ旨ヲ出納官吏又ハ市
町村ニ通知シ該證券ヲ返付スヘシ
出納官吏又ハ市町村前項ニ依リ證券ノ返付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ受領證書ヲ日本銀行ニ送付スヘシ

第六條 歳入徴收官(分掌官)ニ於テ出納官吏又ハ日本銀行ヨリ領收濟額取消ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ收入濟額ヲ
取消スヘシ
歳入徴收官收入濟額ヲ取消シタルトキハ納人ニ對シ前ニ發付又ハ交付シタルモノト同一納期日ノ納稅告知書、納入告知
書、納付書又ハ拂込通知書ヲ送付スヘシ但シ領收濟額取消ノ報告ヲ受ケタル日方歳入金ノ納期日又ハ督促狀若ハ督促書
ノ指定期日後ニ屬スルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村ニ於テ領收濟額ヲ取消シタル場合ニ之ヲ準用ス
第七條 大正五年勅令第二百五十六號第三條ノ通知書ハ納人ヨリ證券ヲ受領シタル出納官吏、日本銀行又ハ市町村ノ發
スヘシ

前項通知書ノ送達ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於ケル公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲スヘシ但シ出納官吏在勤官署、日本銀
行又ハ市町村ノ揭示場ニ七日間揭示シテ之ニ代フルコトヲ得

第八條 支拂ナカリシ證券ノ還付ヲ受ケムトスル納人ハ其ノ證券ヲ納付シタル官署、日本銀行又ハ市町村役場ニ就キ之方
請求ヲ爲スヘシ
出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ領收證書ヲ徴シ之ト引換ニ證券ヲ還付スヘシ

第九條 郵便ニ依リ納付シタル證券ニシテ受領スヘカラサルモノ又ハ受領シタル證券ニシテ偽造、變造若ハ遠式ナルモノ
ニ付テハ第五條乃至第八條ノ規定ヲ準用ス

第十條 證券ノ呈示期間若ハ有効期間ヲ經過シタルカ爲支拂ヲ受クルコトヲ得サルトキ又ハ證券ヲ亡失シタルトキハ出納
官吏在勤官署、日本銀行又ハ市町村ハ證券ノ種類ニ從ヒ直ニ當該法規ノ定ムル所ニ依リ必要ナル手續ヲ爲シ支拂又ハ償
還ノ請求ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判上ノ行爲ヲ必要トスルトキハ出納官吏在勤官署ニ在リテハ民事訴訟ニ付國ヲ代表スル所屬官廳
ニ、日本銀行ニ在リテハ大藏大臣ニ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シテ之方處理ヲ申請スヘシ
市町村ハ第一項ニ依リ支拂又ハ償還ヲ受クルニ先ダチニ相當スル金額ヲ日本銀行ニ送付スルコトヲ得

第十一條 亡失シタル證券又ハ呈示期間若ハ有効期間ヲ經過シタル證券ニシテ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サリシモノ
ノ金額ニ付テハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ避クヘカラサル事由ヲ説明スルニアラサレハ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ
得ス

第十二條 歳入徴收官ニ於テ大正五年大藏省令第三十號第二條ニ依リ承認ヲ爲ストキハ納稅告知書、納入告知書、納付書、
拂込通知書又ハ即納通知書ヲ用井ルモノニ在リテハ其ノ餘白ニ第三號様式ノ印章ヲ押捺スヘシ

第十三條 出納官吏、日本銀行又ハ市町村ニ於テ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シテ之ヲ取扱フヘシ
市町村ハ受領證券仕簿ヲ備ヘ納人別ニ之方整理ヲ爲スヘシ
第十四條 鐵道、郵便電信電話官署ノ出納官吏ニ於テ受領シタル證券ニシテ第三條第一項但書ニ該當スルモノハ之ヲ日本
銀行ニ預託シ又ハ郵便局通過金ノ振換拂込ニ充用スルコトヲ得

第二編會計 第一章通則

前項ノ規定ニ依リ拂込マレタル領託金又ハ郵便局過越金ニ付テハ日本銀行ハ其ノ證券ヲ現金ニ引換ヘタル後ニ非サレハ預託金領收證書又ハ郵便局過越金領收證書ヲ交付スルコトヲ得ス

第一號様式

「何官署」「何市町村」扱

字体 楷書
寸法 曲尺 縦一寸
横五分

第二號様式 用紙適宜 輪廓寸法 縦四寸五分 横三寸三分

證券仕簿書 第 號

種類	枚數	券面金額
手切小		圓
債券 利札		
官内省ノ仕拂 命令		
保管金引出切符		
郵便爲替證書		
合計		

年 月 日

何官署出納官吏 官 氏 名 團

又ハ

何市町村長 氏 名 團

備考

- 一 本書記載事項ニ訂正ヲ加ヘタルトキハ出納官吏又ハ市町村長其ノ認印ヲ押捺スルモノトス
- 二 本書ハ正副二通ヲ作り副本ハ拂込・預託又ハ送付金額ニ對スル日本銀行ノ領收證書ヲ添附シ置クモノトス
- 三 國債證券ノ利札ニシテ第一條ノ二ニ該當スル場合ニ於テハ券面金額欄ニ納付金額ヲ記載シ資本利子税ニ相

第二編會計 第一章通則

第三號様式

小切手ヲ以テ納付スル場合ニハ支拂
銀行ノ支拂保證ヲ要セス

〔何 官 署〕

字體 楷書
寸法 適宜

●歳入納付ニ使用スル證券ニ關スル件

(大正五年十二月二十一日)
勅令第二百五十六號

附則 大正一二年三月勅令第一六五號、一五年八月第二九四號改正

- 第一條 大正五年法律第十號ニ依リ租稅其ノ他ノ歳入ノ納付ニ使用スルコトヲ得ル證券ハ左ニ掲クルモノニシテ其ノ金額ノ納付金額ヲ超過セサルモノニ限ル但シ第二號ノ場合ニ於テ資本金子稅ヲ課セラルル者ノ納付スヘキ資本金子稅ニ相當スル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 小切手又ハ一覽拂ノ爲替手形ニシテ無記名式又ハ記名持參人拂ノモノ
 - 二 無記名國債證券ノ利札ニシテ支拂期ニ到達シタルモノ
 - 三 宮内省ノ仕拂命令又ハ保管金引出切符ニシテ納人ノ爲發行シタルモノ
 - 四 郵便通常爲替證書ニシテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト爲シタルモノ又ハ郵便小爲替證書ニ

シテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト指定シ若ハ受取人ヲ指定セサルモノ

前項ノ證券ニシテ呈示期間若ハ有効期間ノ滿了ニ近シキタルモノ又ハ支拂不確實ナリト認ムルモノハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村其ノ受領ヲ拒絕スルコトヲ得

證券ノ支拂場所ヲ受領者ノ所在地ニ在ラサルモノニ付亦前項ニ同シ但シ支拂場所ヲ受領者ノ拂込又ハ送付ヲ爲ス日本銀行ノ本店、支店又ハ代理店ノ所在地ニ在ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 證券ヲ呈示期間内又ハ有効期間内ニ呈示シ支拂ヲ請求シタル場合ニ於テ支拂ノ拒絕アリタルトキハ歳入ハ初ヨリ納付ナカリシモノト看做ス

第三條 前條ノ場合ニ於テハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ納人ニ對シ遲滞ナク書面ヲ以テ證券ノ支拂ナカリシ旨及其ノ證券ノ還付ヲ請求スヘキ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ヲ受クヘキ者其ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ住所、居所不明ナルトキハ通知書記載ノ要旨ヲ公告スヘシ
第一項ノ通知書ヲ發シタル日又ハ第二項ノ公告ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ納人ハ證券ノ還付ヲ請求スルコトヲ得ス

第四條 出納官吏、日本銀行又ハ市町村ノ受領シタル證券ノ取扱ニ關シテハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五條 證券ヲ以テ納付シ得ル歳入ノ種目ハ主管大臣之ヲ定ム

第六條 大藏大臣ハ證券ノ金額、種類又ハ納付場所ニ依リ其ノ納付ニ關シ制限ヲ加フルコトヲ得
主管大臣ハ前項ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ定メタルモノノ外主管歳入ノ納付ニ付更ニ制限ヲ加フルノ必要アリト認ムルトキハ大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第七條 市町村ニ於テ大正五年法律第十號第三條第二項ノ規定ニ依リ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ地方長官ヲ經由シテ主管大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ
地方長官前項ノ申請書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ調査シ意見ヲ具シテ主管大臣ニ送付スヘシ

第二編會計 第一章 通則

第八條 本令中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ歳入ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ適用ス

第九條 本令中主管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ但シ第六條第二項ノ場合ニ於テハ主管大臣ヲ經由スルコトヲ要ス

本令中地方長官ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長之ヲ行フ

附則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第三十四號ハ之ヲ廢止ス

附則 (大正十一年三月勅令第六十五號附則)

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前政府ノ發シタル仕拂命令、仕拂請求書又ハ保管金引出切符ハ本令施行後一年間仍從前ノ例ニ準シ租稅其ノ他ノ歳入ノ納付ニ之ヲ使用スルコトヲ得

●證券ヲ以テ納付シ得ル歳入ノ種目及制限

(大正五年十二月二十八日)
(內務省令第十六號)

第一條 內務省主管ニ屬スル一般會計及(樺太廳特別會計)ノ歳入ハ總テ證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

第二條 小切手又ハ爲替手形ハ左ニ掲クル歳入ノ納付ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一 料料及過料

二 間接國稅犯則者納金及間接國稅犯則者處分費納金

第三條 樺太廳郵便局ニ於テ取扱フ歳入ハ左ニ掲クル證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得ス

一 小切手

二 郵便爲替證書ニシテ納付スヘキ郵便局以外ノ郵便局ヲ拂渡郵便局トシテ指定シタルモノ

三 小切手、郵便爲替證書以外ノ證券ニシテ其ノ支拂場所ヲ納付スヘキ郵便局ノ所在地ニ在ラサルモノ

附則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大正五年十二月二十九日)
(司法省令第三十五號)

附則 大正十一年六月司令第一四號改正

第一條 司法省主管ノ歳入ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

第二條 政府以外ノ者ノ振出シタル小切手又ハ爲替手形ハ罰金、料料、過料、刑事追徵金、訴訟費用及非訟事件ノ費用ノ納付ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

附則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●諸收入收納取扱規程

(明治三十三年四月六日)
(大藏省訓令第二十七號)

同 明三三年一〇月大訓第六二號、三四年四月第一二號、六月第二〇號、三五年一月第四六號、四一年四月第二三號、四三年六月第一七

第二編會計 第一章 通則

報 告 書
(日本銀行ハ通知)

第「何」號	「某」年	「何」郡市	「何」町村	「何」某納
經常(臨時)	「何」々	(款)	「何」々	(項)
			「何」々	(目)
一金何程				大藏省主管 取 扱 處 名
右領收濟ニ付報告(日本銀行ハ通知)候也				
明治「何」年「何」月「何」日				
「收入徴收官氏名宛」				
「收入官吏官氏名」				
又ハ「日本銀行何店」				

領 收 證 書

第「何」號	「某」年	「何」郡市	「何」町村	「何」某納
「取 扱 處 名」				
一金何程				
「但何々」				
右領收候也				
明治「何」年「何」月「何」日				
「收入官吏官氏名」				
又ハ「日本銀行何店」				

●經費仕拂方ニ關スル件

(明治二十七年三月
岐阜縣訓令第百三號)

明三五年二月縣訓令第七六號改正

本縣ノ地方經濟ニ屬スル經費金ノ仕拂方ハ明治二十七年年度以降左ノ各項ニ依ルヘシ

第一項 物件購入ノ契約其他債務ヲ生スヘキ事項ハ總テ知事又ハ其委任ヲ受ケタル部所長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之レヲ執行スヘカラス

第二項 經費金ノ仕拂ハ正當受取人又ハ其代理人ヨリ請求書ヲ差出シタル上之ヲ執行スヘシ其代理人ノ請求ニ係ルモノハ必ス相當委任狀ヲ添付セシムルヲ要ス但郵便切手ノ如キ事實請求書ヲ徴シ難キモノ又請求書ヲ徴スルノ必要ナシト認ムルモノハ本項ノ限リニアラス

第三項 正當受取人又ハ其代理人ヨリ支出金ノ請求書ヲ差出シタルトキハ其事務主掌ノ部課ニ於テ之ヲ受ケ第一項ノ決議書其他ノ書類ニ照シ金額事由等ヲ調査シ主務吏員押印ノ上決議書其他支出金證明ニ要スル書類ト共ニ之ヲ會計主務課(縣廳ハ第四課、郡役所ハ第二課會計掛ノ類)ニ送付スルモノトス但事實請求書ヲ徴シ難キモノ又請求書ヲ徴スルノ必要ナシト認ムルモノハ主務吏員ニ於テ支出金調査書ヲ製シ本項ノ手續ヲ爲スモノトス又吏員任用及俸給異動ニ係ル決議書ハ送付ヲ要セス

第四項 會計主務課ニ於テ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ當該書類ニ就キ年度科目、金額及債主ノ人名、豫算ノ有無其他支出ニ關スル一切ノ當否ヲ審査シ不相當ノ廉アルトキハ主掌ノ部課ニ返付シテ再調ヲ求メ相當ノモノハ知事又ハ其委任ヲ受ケタル部所長ノ決裁ヲ經テ仕拂ノ手續ヲ爲スモノトス

會計主務課ニ於テハ俸給手續被服料ノ如キ規定ノ給額アルモノハ豫テ其臺帳ヲ設ケ置キ支出金調査ノ材料ニ供スヘシ

第五項 各受取人ヨリ領收證書ヲ徴スルトキハ其金額事由及受取人ノ姓名印章ヲ請求書ニ照シ相違ナキコトヲ認メタル上仕拂切符又ハ現金ト引換ニ之ヲ徴スヘシ

第六項 支出金ニ關スル書類ハ毎年度費目ヲ分チ編纂シ置クヘシ

●出納官吏事務規程

(大正十一年一月十一日)
大藏省令第二號

附則 大正一五年三月大藏省令第七號昭和元年一二月第二號改正

第一章 總則

第一條 出納官吏ハ本令ノ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

第二條 出納官吏法令ノ規定ニ依リ現金ニ代ヘ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シ之ヲ取扱フ爲スヘシ

第三條 出納官吏其ノ手許ニ保管スル現金ハ之ヲ堅牢ナル容器中ニ藏置スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ自己ノ責任ヲ以テ之ヲ郵便局若ハ確實ナル銀行ニ預入レ又ハ資産信用アル者ニ其ノ保管ヲ託シ其ノ他適當ノ方法ニ依リ之ヲ保管スルコトヲ得

第四條 出納官吏其ノ取扱ニ係ル現金ハ私金ト混同スルコトヲ得ス

第五條 出納官吏他ノ公金ノ出納保管ヲ兼掌スル場合ニ於テハ其ノ現金ハ官金ト區分シ同一容器中ニ之ヲ保管スルコトヲ得

第六條 出納官吏本令ノ定ムル所ニ依リ振出ス小切手ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外之ヲ記名式持參人拂ト爲スヘシ

第七條 官廳、出納官吏又ハ日本銀行ヲ受取人トシテ振出ス小切手ハ之ヲ記名式トシ之ニ裏書禁止ノ旨ヲ記載スヘシ

第八條 現金出納簿ハ一人一冊トシ出納官吏ハ職務及所管廳ノ如何ヲ問ハス其ノ取扱ニ係ル現金ノ出納ヲ總テ之ニ記入スヘシ

第九條 外國ニ於ケル出納官吏ノ事務取扱ニシテ本令ニ依リ難キモノニ付テハ特例ヲ設クルコトヲ得

第十條 各省大臣ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ所屬出納官吏ノ事務取扱ニ付大藏大臣ト協議シ之ヲ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十一條 本令ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出納員ノ事務取扱ニ付之ヲ準用ス

第十二條 本令中各省大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第二章 收入官吏

第一節 收入金ノ領收

第十三條 收入官吏納人ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納人ニ交付シ其ノ報告書ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

第十四條 收入官吏納人ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添附セスシテ現金ノ納付ヲ受ケタルトキ又ハ歳入徵收官ノ口頭告知ニ依リ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納人ニ交付シ其ノ報告書ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

第十五條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ邦貨ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣ヲ以テ收納セムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ算出シタル金額ノ外國貨幣ヲ收納スヘシ

第十六條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ邦貨ヲ以テ收納セムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル金額ノ邦貨ヲ收納スヘシ

第十七條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第十八條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第十九條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十一條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十二條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十三條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十四條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十五條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十六條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十七條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十八條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第二十九條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十一條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十二條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十三條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十四條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十五條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十六條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十七條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十八條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第三十九條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十一條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十二條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十三條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十四條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十五條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十六條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十七條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十八條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第四十九條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

第五十條 收入官吏外國ニ於テ納人ヨリ外國貨幣ヲ基礎トスル收入金ヲ外國貨幣額及外國貨幣換算價格ヲ傍記スヘシ

貨幣換算價格ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ歳入徴收官ニ送付スル報告書ヲ記載シ其ノ收納シタル外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第二節 收入金ノ拂込

第十八條 日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)所在地ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第一號様式ノ現金拂込書ヲ添ヘ現金領收ノ日又ハ其ノ翌日日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ領收金額百圓未満ナルトキハ毎十日分ヲ取纏メ日本銀行ニ拂込ムコトヲ得

第十九條 日本銀行所在地外ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ左記期限内ニ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ第二號乃至第四號ノ場合ニ於テハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日ヲ起ユルコトヲ得ス

一 領收金高百圓未満ナルトキハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日内

二 領收金高百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ十日内

三 領收金高五百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ五日内

四 領收金高千圓以上ニ達シタルトキハ其ノ翌日限

第二十條 收入官吏其ノ在勤地外ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第十八條ノ規定ニ準シ拂込ヲ爲シ得ル場合ヲ除クノ外前條ノ規定ニ準シ之ヲ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 運輸交通ノ不便ナル地方ニ在勤スル收入官吏ニシテ第十九條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ所管大臣大藏大臣下協議シ之ヲ特例ヲ設クルコトヲ得

第二十二條 收入官吏外國ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ前四條ノ規定ニ準シ之ヲ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ外國貨幣ノ庫込ヲ爲サムトスルトキハ現金拂込書ニ邦貨額ヲ記載シ外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第二十三條 收入官吏外國ニ於テ領收シタル現金ニシテ前條ノ規定ニ依リ拂込ヲ爲スコト能ハサルモノニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外一月分ヲ取纏メ之ヲ爲替券ニ換ヘ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行本店ニ拂込ムヘシ

前項ノ現金拂込書ニハ邦貨額ヲ記載シ爲替券面額ヲ傍記スヘシ

第三節 現金拂込報告

第二十四條 收入官吏ハ現金出納簿ニ依リ毎年第二號書式ノ現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月五日迄ニ之ヲ歳入徴收官ニ送付スヘシ

分任收入官吏ノ調製シタル現金拂込仕譯書ハ主任收入官吏ニ於テ之ヲ取纏メ歳入徴收官ニ送付スルモノトス但シ歳入徴收官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ分任收入官吏ヲシテ直接之ヲ送付ヲ爲サシムルコトヲ得

第三章 資金前渡官吏

第一節 總則

第二十五條 資金前渡官吏日本銀行ニ資金ヲ預託スル場合ニ於テハ該資金前渡官吏ヲ任命シタル者豫メ其ノ資格氏名ヲ當該日本銀行ニ通知スヘシ

第二十六條 資金前渡官吏、前條ノ場合ニ於テ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ニ官職氏名ヲ記載シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第二十七條 本章ノ規定ニ依リ資金前渡官吏ノ振出ス小切手ニハ其ノ表面餘白ニ「預託金」ノ印ヲ捺捺スヘシ

第二十八條 日本銀行所在地ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ其ノ他ノ日本銀行ニ預託スヘシ但シ常時小口ノ現金支拂ヲ要スル場合ニ於テ支出官ノ定ムル所要金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 日本銀行所在地外ニ在勤スル資金前渡官吏ハ其ノ在勤地又ハ出張地最寄ノ日本銀行ニ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ預託スルコトヲ得日本銀行所在地ニ在勤スル資金前渡官吏在勤地外ニ於テ現金ヲ保管スルトキ亦同シ

第三十條 資金前渡官吏前二條ノ規定ニ依リ其ノ現金ヲ日本銀行ニ預託セムトスルトキハ之ニ第三號書式ノ預託金拂込書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込ミ預託金領收證書及小切手用紙ノ交付ヲ受クヘシ

第二編會計 第一章通則

第三十條 資金前渡官吏日本銀行ニ預託シタル現金ヲ引出サムトスルトキハ自己ヲ受取人トスル小切手ヲ振出スヘシ

第三節 支拂

第三十一條 資金前渡官吏債主ヨリ支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ請求ハ正當ナルカ、資金交付ヲ受ケタル目的ニ違フコトナキカヲ調査シ之ヲ支拂ヲ爲シ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十二條 資金前渡官吏文官列任以上ノ者ノ俸給ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ俸給額ヨリ國庫納金額ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十三條 資金前渡官吏健康保險ノ被保險者ニ報酬ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ報酬額ヨリ被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第三十四條 資金前渡官吏日本銀行預託金中ヨリ支拂ヲ爲サムトスルトキハ現金ノ交付ニ代ヘ該預託金ニ對スル小切手ヲ振出スヘシ但シ受取人ニ於テ特ニ現金ノ交付ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 資金前渡官吏ハ其ノ振出シタル小切手ニシテ振出日附後一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セザルモノニ付テハ其ノ金額、年度、科目及債主名ヲ支出官ヲ經由シテ歳入徵收官ニ報告スヘシ

第三十六條 資金前渡官吏前條ノ金額ニ付歳入徵收官ヨリ納入ノ告知ヲ受ケタルトキハ該金額ヲ券面金額トシ當該官廳ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ該告知書ニ添ヘ日本銀行ニ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十七條 第三十四條ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ支拂ヲ拒絶セラレタルカ爲其ノ所持人ヨリ償還ノ請求アリタルトキハ資金前渡官吏ハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ詳ニシ證據書類ヲ

添ヘ支出官ヲ經由シ之ヲ所管大臣ニ具申シ所管大臣ハ審査ノ上之ヲ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第三十八條 前二條ノ場合ニ於テ資金前渡官吏交替シタルトキハ後任官吏ニ於テ之ヲ手續ヲ爲スヘシ但シ後任官吏ナキ場合ニ於テハ其ノ職務ヲ引繼キタル官吏其ノ手續ヲ爲スモノトス

第三十九條 資金前渡官吏資金ヲ隔地ノ出納官吏ニ送付スル必要アル場合ニ於テハ日本銀行ニ之ヲ送金ヲ請求スルコトヲ得

第四十條 資金前渡官吏前條ノ送金ヲ請求セムトスルトキハ送金額ヲ券面金額トシ日本銀行ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ裏面ニ受取人ノ資格氏名、支拂店名及送金ヲ要スル旨ヲ記載シ之ヲ預託金ヲ取扱フ日本銀行ニ交付シ領收證書ヲ徴スヘシ

第四十一條 前項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏ハ第四號書式ノ預託金支拂通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第四十二條 第一項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏電信送金ヲ要スルトキハ其ノ振出ス小切手ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記入スルト共ニ前項ノ通知書ニ代ヘ電信ヲ以テ受取人ニ通知スヘシ

第四十三條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書所載ノ支拂場所ノ變更ニ關スル規定ハ前條ノ預託金支拂通知書ノ支拂店變更ニ付之ヲ準用ス

第四十四條 第四十二條 毎年度ニ屬スル歳出金ノ支拂ヲ爲シ得ルハ翌年度四月三十日限トス

第四十五條 第四節 拂込及返納

第四十六條 資金前渡官吏第三十二條ノ手續ヲ爲シタルトキハ國庫納金額ニ相當スル現金ニ第五號書式ノ國庫納金額表ヲ添ヘ歳入徵收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

第四十七條 第四十三條ノ二ノ前條ノ規定ハ資金前渡官吏第三十二條ノ二ノ手續ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ健康保險料被保險者負擔金表ハ第五號ノ二書式ニ依ル

第四十八條 第四十四條 資金前渡官吏第三十三條ノ手續ヲ爲シタルトキハ相殺金額ニ相當スル現金ニ第六號書式ノ相殺額表ヲ添ヘ歳

第二編會計 第一章通則

入徴收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ヲ交付ヲ受ケヘシ
前項ノ場合ニ於テ政府ノ債權者資金前渡官所屬廳以外ノ官廳ニ對スル債務ヲ以テ相殺シタルトキハ該官廳ノ歳入徴收
官ヨリ納入告知書ヲ受ケ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ
第四十五條 政府ノ收納スヘキ金額カ相殺額ト同額ナルトキ又ハ之ヲ超過スル場合ニ於テハ資金前渡官吏相殺金額ニ付前
條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ收納金額ノ相殺額ヲ超過シタルモノニ付テハ資金前渡官吏ハ相殺額ヲ超過シタル金額及相殺ノ相手方
ノ氏名ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第四十六條 資金前渡官吏其ノ前渡ヲ受ケタル資金ニ付支出官又ハ歳入徴收官ヨリ返納又ハ納入ノ告知書ヲ受ケタルトキ
ハ現金ニ該告知書ヲ添ヘ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條 資金前渡官吏ハ前五條ノ場合ニ於テ日本銀行ニ預託シタル金額中ヨリ拂込ヲ爲サムトスルトキハ拂込金額ヲ
券面金額トスル小切手ヲ振出スヘシ

第四十八條 前項ノ規定ニ依リ振出ス小切手ハ當該官廳ヲ受取人トシ表面餘白ニ第四十三條ノ場合ニ於テハ「國庫納金」
第四十三條ノ二ノ場合ニ於テハ「健康保險料被保險者負擔金」ノ印第四十四條及第四十五條ノ場合ニ於テハ「相殺額」ノ印
ヲ押捺スヘシ

第五節 證明
第四十九條 資金前渡官吏日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ヨリ預託金拂込書並支拂濟小切手ノ番號及金額ヲ記載シタル書
類ヲ添ヘ預託金月計突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ證明ノ上五日以内ニ之ヲ統轄店又ハ特扱代理店ニ返付スヘ
シ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ返付スル場合ニ於テハ小切手ノ支拂店ヲ經由スヘシ
第四章 歳入歳出外現金出納官吏

第五十條 歳入歳出外現金出納官吏現金ヲ領收シタルトキハ領收證書ヲ交付シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ報告スヘシ
第五十一條 歳入歳出外現金出納官吏ノ領收シタル現金ヲ大藏省預金部預金ニ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ保管金取扱規程及
預金部預金取扱規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ
第五十二條 歳入歳出外現金出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ拂渡シタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ數シ其ノ旨ヲ取扱官
廳ニ報告スヘシ

第五節 繰替拂出納官吏
第五十三條 本令ニ於テ繰替拂出納官吏ト稱スルハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ其ノ取扱ニ係ル現金ノ繰替使用ヲ爲
ス出納官吏ヲ謂フ

第五十四條 繰替拂出納官吏其ノ取扱ニ係ル歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂
ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ一團トシテ取扱フヘシ

第五十五條 繰替拂出納官吏ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ保管ニ係ル現金ヲ日本銀行ニ預託スヘシ
第五十六條 第三十九條乃至第四十一條ノ規定ハ帝國鐵道官署ニ於ケル繰替拂出納官吏隔地ノ債主又ハ出納官吏ニ送金ヲ
爲スノ必要アル場合ニ付之ヲ準用ス但シ預託金支拂通知書ハ第七號書式ニ依ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ運輸交通ノ不便ノ地ニ在ル債主又ハ出納官吏ヨリ其ノ住所又ハ居所ニ送金ヲ求メタルトキハ其ノ住所
又ハ居所ヲ支拂場所ニ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ預託金支拂通知書ニ代ヘ適宜ノ通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第五十七條 第十三條乃至第十七條、第二十五條、第二十六條、第二十六條ノ二、第二十九條、第三十條、第三十四條乃至
第三十八條、第四十二條、第四十九條、第五十條及第五十二條ノ規定ハ繰替拂出納官吏ニ之ヲ準用ス

第五十八條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外繰替拂出納官吏ノ事務取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ
第六章 事務引継手續

第五十九條 出納官吏交替ノ場合ニ於テハ前任出納官吏ハ現金出納簿ニ締切ヲ爲シ引繼ノ年月日ヲ記入シ後任出納官吏ト

第二編會計 第一章通則

共ニ記名捺印スヘシ

第六十條 日本銀行ニ預託金ヲ有スル前任出納官吏ハ前條ノ締切ヲ爲シタル日ニ於ケル預託金現在高ノ證明ヲ日本銀行ニ對シ請求スヘシ

第六十一條 前任出納官吏ハ第八號書式ノ現金現在高書又ハ現金及預託金現在高書並其ノ引繼クヘキ帳簿、證據其ノ他ノ書類ノ目錄各二通ヲ調製シ後任出納官吏立會ノ上現物ニ對照シ受授ヲ爲シタル後現在高書及目錄ニ年月日及受授ヲ了シタル旨ヲ記入シ兩出納官吏ニ於テ記名捺印シ各一通ヲ保存スヘシ

第六十二條 前條ノ手續ヲ了シタルトキハ前任出納官吏ハ後任出納官吏ト共ニ記名捺印ノ上預託金現在高引繼通知書ヲ所屬官廳及日本銀行ニ送付スヘシ

前項ノ通知書ニハ前任出納官吏ノ振出シタル小切手ニシテ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサル金額ヲ區分記載スヘシ

第六十三條 第二十四條ノ規定ニ依リ調製スヘキ現金拂込仕譯書ハ後任收入官吏ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第六十四條 前任出納官吏死亡又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ會計規則第四百十六條ノ規定ニ依リ計算書ノ調製ヲ命セラレタル官吏本章ノ定ムル所ニ依リ之ヲ手續ヲ爲スヘシ

第七章 雜則

第六十五條 出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ亡失シタルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ所屬官廳ニ報告スヘシ

第六十六條 出納官吏領收濟報告書、現金拂込書又ハ預託金拂込書ノ記載事項中誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ歳入徵收官又ハ日本銀行ニ之ヲ訂正ヲ請求スヘシ

第六十七條 出納官吏預託金支拂通知書ノ記載事項中金額以外ノモノニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ受取人ヲシテ該預託金支拂通知書ヲ提出セシメ之ヲ訂正ヲ爲シ其ノ事由ヲ記入シ之ヲ受取人ニ返付スヘシ

第六十八條 出納官吏第四十條及第五十六條ニ規定スル小切手ノ裏面記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク日本銀行ニ之ヲ訂正ヲ請求スヘシ

第六十九條 出納官吏現金拂込ニ係ル領收證書又ハ預託金領收證書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ日本銀行ヨリ其ノ拂込濟ノ證明ヲ受クヘシ

第七十條 支出官事務規程中歳出金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱ニ關スル規定ハ第四十條第二項及第五十六條第一項ニ規定スル預託金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス

第七十一條 出納官吏預託金月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本銀行統轄店又ハ特扱代理店ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ統轄店ニ送付スル場合ニ於テハ小切手ノ支拂店ヲ經由スヘシ

第七十二條 出納官吏第三十九條又ハ第五十六條ノ規定ニ依リ送金ヲ依頼シタル後其ノ必要ナキニ至リタルトキハ支拂未了ナル場合ニ限リ日本銀行ニ對シ預託金ニ戻入ヲ請求スヘシ其ノ小切手振出日附後一年ヲ經過シ仍支拂ヲ了セサルモノニ付亦同シ

附則

第七十三條 本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十四條 左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス
出納官吏現金取扱規則

明治三十年大藏省令第一號
帝國鐵道會計所屬出納官吏雜部保管金取扱手續

艦隊經費ヲ取扱フ出納官吏雜部保管金取扱手續

第七十五條 本令施行前金庫ニ寄託ヲ爲シタル現金ハ本令ニ依リ日本銀行ニ預託シタルモノト看做ス

第七十六條 本令施行前發行シタル保管金引出切符又ハ雜部保管金仕拂通知書ハ本令ニ依リ發行シタル小切手又ハ預託金支拂通知書ニ準シテ之ヲ取扱フヘシ

第二種書式

大正「何」年度

大正「何」年度

普通 通知 金 書

第「何」號 大正「何」年度	
「經常(臨時)」	「何廳主任收入官吏官氏名」 拂込人又ハ「何廳主任收入官吏官氏名所屬」 「何廳分任收入官吏官氏名」
金	
上記ノ金額領收済ニ付通知候也	
大正「何」年「何」月「何」日	
日本銀行「何」店 團	
「歳入徴收官官氏名宛」	

大正十四 歳 去々歳前 大正十五 歳 去々歳前 大正十六 歳 去々歳前

大正十七 歳 去々歳前 大正十八 歳 去々歳前 大正十九 歳 去々歳前

大正二十 歳 去々歳前 大正二十一 歳 去々歳前 大正二十二 歳 去々歳前

大正二十三 歳 去々歳前 大正二十四 歳 去々歳前 大正二十五 歳 去々歳前

領 收 證 書

第「何」號 大正「何」年度	
「所 管 廳」	「歳入徴收官 官 氏 名」
「經常(臨時)」	「何廳主任收入官官氏名」 拂込人又ハ「何廳主任收入官吏官氏名所屬」 「何廳分任收入官吏官氏名」
金	
上記ノ金額領收候也	
大正「何」年「何」月「何」日	
日本銀行「何」店 團	

Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side, containing various numbers and names.

第二號書式

大正「何」年度

大正「何」年「何」月分現金拂込仕譯書

摘要	金額	備考
前月迄拂込未済		
本月中現金領收高計		
本月中現金拂込高		
差引翌月へ越		

大正「何」年「何」月「何」日

「主任(又ハ分任)収入官吏 官 氏 名」

「歳入徴收官官氏名」宛

備考 用紙ハ美濃判四分ノートス

第一號書式

現金 拂込 証書

第「何」號 大正「何」年度

「所 管 廳」 「歳入徴收官 官 氏 名」

「經 常(臨 時)」 「取 扱 廳」

金

上記ノ金額拂込候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳主任収入官吏

官 氏 名」

又ハ「何廳主任収入官吏官氏名所屬」

「何廳分任収入官吏

官 氏 名」

備考 一用紙寸法 縦 五寸六分 輪廓寸法 縦 四寸五分
横 三寸八分 横 三寸三分

ノモノ三枚接續トシ左方ニ一寸ノ綴代ヲ設クヘシ

二金額、番號、年度、所管廳名、歳入徴收官官氏名及經

常臨時部名ハ収入官吏ニ於テ記入スルモノトス

第四號書式
領收證

第「何」號	取扱 應名	預託金取扱日本銀行名
前記ノ金額領收候也 大正「何」年「何」月「何」日 「何」應(又ハ、艦船) 出納官吏官氏名「團」	「何」應、又ハ、艦船 出納官吏官氏名「宛」	前記ノ金額日本銀行本店 (何地支店又ハ代理店)ニ 於テ受領セラルヘシ 大正「何」年「何」月「何」日 「何」應出納官吏官氏名「團」

備考
一 用紙寸法 縦五寸二分 横六寸三分 輪廓寸法 縦四寸六分 横五寸四分
二 本書ハ左方ニ八分ノ綴代ヲ設クヘシ
三 支拂指定日本銀行ニ於テ支拂ノ上ハ本書ヲ預託
金取扱日本銀行ニ送付スヘシ

第三號書式

第「何」號
金
上記ノ金額預託候也 大正「何」年「何」月「何」日 「何」應出納官吏官氏名「團」 日本銀行「何」店 宛

備考 用紙 適宜
用紙寸法 美濃判四分ノ一
原符ハ適宜之ヲ設クルコトヲ得

第五號書式

(一般會計)

國庫納金額表

收入取扱官廳

所管廳	年度	現金又ハ小切手	國庫納金者氏名	俸給額	國庫納金額	備考
		現金又ハ小切手ノ大正「何」年「何」月「何」日「何」廳收入 備考 用紙ハ	國庫納金額拂込候也 「何」廳收入 備考 用紙ハ	俸給額	國庫納金額	

第六號書式

相殺額

表

收入取扱官廳

所管廳	年度	現金又ハ小切手	相殺相手方氏名	相殺金額	備考
		現金又ハ小切手ノ大正「何」年「何」月「何」日「何」廳收入 備考 用紙ハ	上記ノ相殺金額拂込候也 大正「何」年「何」月「何」日「何」廳收入 備考 用紙ハ	相殺金額	

● 出納官吏ハ何時タリトモ金櫃帳簿等ノ検査ニ 應セシム

(明治二十五年五月三十一日)
(大藏省訓令第三十五號)

出納官吏

本年當省訓令第三十號ニヨリ出納官吏ノ金櫃帳簿等検査トシテ検査員臨檢ノトキ休暇日又ハ退廳後ニ際スルモ検査員通知ニヨリ出納官吏ハ何時タリトモ其検査ニ應スル儀ト心得ヘシ

● 出納官吏帳簿金櫃検査員心得

(大正十五年七月十日)
(岐阜縣訓令甲第九十號)

知事官房	内務部
學務部	警察部
支廳	警察署

大正十三年三月三號岐阜縣訓令乙第四百六十六號ハ之ヲ廢止ス

第一條 會計規則第三百三十六條ニ依ル出納官吏帳簿金櫃ノ定時検査ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日マテ臨時検査ハ前ノ検査後ニ屬スル出納ヲ検査スルモノトス但シ出納官吏交替ノ場合ハ其ノ取扱ヒタル最終ノ日マテ検査スルモノトス

第二條 検査員ハ出納官吏又ハ立會人ヨリ前條ノ検査期間ニ於ケル第一號書式ノ現金出納仕譯書ヲ徵シ帳簿書類及現物ト對照検査スヘシ
出納官吏數所管省ニ屬スル現金ノ取扱チ爲ス場合ハ其ノ數所管省ニ屬スル検査員同一人ナルトキト雖現金出納仕譯書ハ

甲式ニ依リ所管省別ニ作成セシムルモノトス但シ検査上ノ便宜ニ依リ數所管省ニ屬スル検査員同時ニ同一ノ検査員ニ於テ執行スル場合ハ其ノ検査ヲ爲スヘキ各所管省ニ屬スル取扱金ノ仕譯書ヲ乙式ニ依リ一通ニ作成セシムルモ妨ケナシ

第三條 現金仕納仕譯書ノ出納金額ヲ帳簿ト對照スル方法左ノ如シ
一 仕譯書中 現金出納簿金高(甲式ニ依リタル仕譯書中合計ノ金高)ノ「前期越高」ハ現金出納簿中前期ニ於ケル殘高ト照合ス

二 同上「本期受入高」ニハ現金出納簿中検査期間ニ於ケル受入金額ト「本期支拂高」ハ拂ノ金額ト照合ス但シ預託又ハ預入ノ爲ニスル受拂ハ之ヲ除クモノトス

三 同上「現在高」ハ現金出納簿中検査期末日ニ於ケル殘高ト照合ス
四 仕譯書中所管省又ハ種目ノ區分アルモノハ前各號ノ例ニ依リ各其ノ受拂及現在ノ金額ヲ當該補助簿ト照合シ其ノ數ナキモノハ現金出納簿ノ摘要ニ就キ各之ヲ區分シテ照合スヘシ

第四條 現金出納仕譯書中金櫃現在高ヲ書類及現物ト對照スル方法左ノ如シ
一 預託金又ハ預金部預金中小切手振出濟ノ金額ハ當該小切手原符ト照合ス

二 前號ノ對照了リタルトキハ金櫃ニ就キ現物ヲ各種類毎ニ検査スヘシ
預託金領收證書及預金部預金領收證書等現金ニ計算スヘキ證書類ハ引出未濟ノモノノミノ金額ヲ現在高ト爲スヘキモノニシテ其幾部ノ金額ニ對シ引出シタルモノアルトキハ現金出納仕譯書中「金櫃現在高」ノ内書ニ書式ノ如ク明記セシムルヲ要ス其ノ現在高ニ計算シタル證書類ノ金額ニ對シ引出濟ナルヤ否ハ現金出納簿其ノ他帳簿書類ニ就キ之ヲ調査スヘシ

第五條 前各條ノ検査了リタルトキハ會計規則第三百三十八條ニ依リ第二號書式ノ檢定書甲乙二通ヲ作成シ検査員及出納官吏又ハ立會人記名捺印シ甲乙割印ノ上甲號ヲ出納官吏又ハ立會人ニ交付スヘシ
第六條 検査員ハ検査ノ狀況及其ノ顛末ヲ詳記シタル検査報告書ヲ作成シ前條ノ乙號檢定書及現金出納仕譯書ヲ添付検査了リタル日ヨリ三日以内ニ知事ニ提出スヘシ出納官吏保管ノ現金紛失其ノ他検査上異狀アルコトヲ發見シタルトキハ

第二編會計 第一章通則

種目	前期越高	本期受入高	本期支拂高	現在高
現金出納簿金高	七〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
大藏省所管租稅外歳入金	一〇〇〇	七〇〇〇	一〇〇〇	〇
某省所管前渡資金	一五〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇〇
某省所管前渡資金	五〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	一五〇〇〇
某省所管歳入歳出外現金	四〇〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇〇

大正何年何月何日金櫃現在高左ノ如シ

一金百圓

金櫃現在高

(内譯甲式ノ通ニ付略ス)

右之通相違無之候也

大藏省所管主任收入官吏官氏名所屬分任收入官吏

某省所管資金前渡官吏

某省所管資金前渡官吏

某省所管歳入歳出外現金出納官吏

官 氏 名

大正何年何月何日

検査員

官氏名宛

第二號甲(乙)

某省所管

某廳出納官吏官氏名帳簿金櫃檢定書

一金百圓

現金出納簿現在高

外金何圓

何省(及何省)所管何々金

他ノ所管省ニ屬スル取扱金アルトキノ例

一金百圓

金櫃現在高

内

金何何圓

通貨

金何何圓

預託金領收證書

金何何圓

預金部預金領收證書

(小切手振出濟ノモノアルトキハ現金出納仕譯書書式ノ如ク内書ヲ爲スヲ要ス)

金何何圓

何々

大正何年何月何日現在高検査候處前書ノ通相違無之候也

第二編會計 第二章通則

検査員

大正何年何月何日

官

氏

名 宛

某省所管何々官吏

官

氏

名 宛

所管省同一ニシテ數職務ヲ兼ヌルモノハ其職務ヲ列記スヘシ

備考

- 一、出納官吏數所管省ニ屬スル現金ヲ取扱フトキハ其ノ數所管省ノ取扱金ヲ同一ノ検査員ニ於テ同時ニ検査ヲ爲セシ場合ト雖檢定書ハ所管省別ニ作成スルモノトス
- 一、出納官吏取扱金ノ現在額ナキトキト雖檢定書ハ作成スルモノトス
- 一、檢定書ノ紙數二葉以上ニ及ヒタルトキハ検査員出納官吏トモ甲乙紙間繼印ヲ爲スヘシ

●收入官吏ハ出納官吏ノ職務ヲ兼掌ノ件

(明治三十七年一月二十三日)
大藏省訓令第三號

收入官吏タルモノハ歳入歳出外現金出納官吏トシテ歳入歳出外現金出納ノ職務ヲ兼掌スヘシ但シ各廳長官ハ必要ト認ムルトキハ他ノ官吏ニ歳入歳出外現金出納官吏ヲ命スルコトヲ得

●出納官吏異動報告ノ件

(大正十五年七月一日)
岐阜縣訓令甲第七十二號

支 廳 警 察 署

出納官吏交替シタルトキハ異動ノ都度左記様式ニ依リ報告スヘシ
明治三十九年七月岐阜縣訓令第三十九號ハ之ヲ廢止ス

出納官吏異動報告

更迭月日	前任者		後任者		事務引繼月日
	官職氏名	取扱最終月日	官職氏名	就職月日	

右報告候也

某支廳(警察署)長

官

氏

名 宛

知 事 宛

備考

更迭月日及取扱最終月日ハ發令ノ日、就職月日ハ發令ノ翌日ヲ記載スルモノトス

●岐阜縣金庫位置及出納區域

(大正十五年九月八日 岐阜縣告示第三百九十五號)

明治三十三年三月 岐阜縣告示第七十三號 岐阜縣金庫位置及出納區域大正十五年十月一日ヨリ左ノ通改正ス

岐阜縣金庫位置及出納區域

縣金庫名	位 置	出 納 區 域
岐阜縣本金庫	岐阜市神田町	岐阜市 稻葉郡一圓 羽島郡中屋村、上羽栗村、下羽栗村、八劍村 本巢郡網代村、西郷村、本田村、穗積村 山縣郡保戸島村 ○郵便振替貯金ノ方法ニ依ル收入ニ付テハ縣下一圓
岐阜縣笠松支金庫	羽島郡笠松町	羽島郡川島村、笠松町、柳津村、松枝村、足近村
岐阜縣竹ヶ鼻支金庫	羽島郡竹ヶ鼻町	羽島郡小熊村、竹ヶ鼻町、福壽村、正木村、江吉良村 堀津村、上中島村、下中島村、八神村、小藪村

岐阜縣高須支金庫	海津郡高須町	海津郡海西村、吉里村、東江村、大江村、西江村、高須町、城山村、石津村
岐阜縣今尾支金庫	海津郡今尾町	海津郡今尾町 養老郡池邊村 安八郡仁木村
岐阜縣高田支金庫	養老郡高田町	養老郡高田町、養老村、廣幡村、上多度村、下多度村、笠郷村、小畑村、多藝村、日吉村、牧田村、一之瀬村、多良村、時村
岐阜縣垂井支金庫	不破郡垂井町	不破郡垂井町、宮代村、表佐村、合原村、府中村、岩手村、關原村、玉村、今須村
岐阜縣大垣支金庫	大垣市郭町	大垣市 安八郡北杭瀬村、中川村、南平野村、神戸町、北平野村、下宮村、和合村、三城村、川並村、安井村、南杭瀬村、多藝島村、洲本村、淺草村、福東村、大藪町、名森村、牧村、結村、墨俣町 不破郡穠里村、靜里村、荒崎村、宇留生村、赤坂村、青基村
岐阜縣揖斐支金庫	揖斐郡揖斐町	揖斐郡揖斐町、大和村、北方村、橫藏村、清水村、西郡村、川合村、鷺村、谷波村、長瀬村、八幡村、池田村、本郷村、宮地村、養基村、小島村、春日村、久瀬村、藤橋村、徳

第二編會計 第一章 通則

岐阜縣北方支金庫	本巢郡北方町	山村、坂内村
岐阜縣高富支金庫	山縣郡高富町	山縣郡高富町、岩野田村、殿美村、春近村、千疋村、山縣村、富岡村、梅原村、下伊自良村、上伊自良村、大桑村、櫻尾村、富波村、谷合村、葛原村、北山村
岐阜縣關支金庫	武儀郡關町	武儀郡瀨尻村、小金田村、倉知村、關町、下有知村、中之保村、加茂郡田原村、富岡村、富田村
岐阜縣美濃支金庫	武儀郡美濃町	武儀郡美濃町、洲原村、下牧村、上牧村、洞戸村、板取村、乾村、東武藝村、南武藝村、大矢田村、藪見村、中有知村、富野村、下之保村、富之保村、上之保村、神瀨村
岐阜縣金山支金庫	武儀郡金山町	武儀郡菅田町、金山町、坂之東村、郡上郡東村、加茂郡佐見村、益田郡下原村、中原村

岐阜縣八幡支金庫	郡上郡八幡町	郡上郡八幡町、川合村、山田村、彌富村、西川村、相生村、嵩田村、下川村、口明方村、奧明方村、西和良村、和良村
岐阜縣上保支金庫	郡上郡上保村	郡上郡牛道村、上保村、北濃村、高鷲村
岐阜縣大田支金庫	加茂郡大田町	加茂郡大田町、坂祝村、加茂野村、加治田村、蜂屋村、山之上村、伊深村、三和村、川邊町、下藤生町、古井町、下米田村、上米田村、蘇原村、黒川村、東白川村、西白川村
岐阜縣八百津支金庫	加茂郡八百津町	武儀郡上藤生村、可兒郡今渡町、土田村、帷子村、春里村
岐阜縣御嵩支金庫	可兒郡御嵩町	加茂郡和知村、八百津町、久田見村、福地村、湖南村、可兒郡錦津村
岐阜縣多治見支金庫	土岐郡多治見町	可兒郡姬治村、久々利村、平牧村、廣見村、伏見村、中村、御嵩町、上之郷村、兼山町
岐阜縣土岐津支金庫	土岐郡土岐津町	土岐郡笠原町、多治見町、市之倉村、可兒郡小泉村、池田村、豊岡町
岐阜縣土岐津支金庫	土岐郡土岐津町	土岐郡土岐津町、泉町、肥田村、日吉村、明世村、瑞浪町、釜戸村、大湫村、土岐町、稻津村、駄知町、曾木村、鶴里村、妻木村、下石町

岐阜縣中津支金庫	惠那郡中津町	惠那郡中津町、坂本村、川上村、福岡村、苗木町、落合村、坂下町、付知町、加子母村
岐阜縣大井支金庫	惠那郡大井町	惠那郡阿木村、三郷村、武並村、長島町、大井町、東野村、笠置村、中野方村、蛭川村、加茂郡飯地村
岐阜縣岩村支金庫	惠那郡岩村町	惠那郡本郷村、上村、岩村町、遠山村、下原田村、明知町、串原村、三瀧村、吉田村、靜波村、陶村、鶴岡村
岐阜縣萩原支金庫	益田郡萩原町	益田郡上原村、馬瀬村、川西村、竹原村、下呂町、萩原町、小坂町
岐阜縣高山支金庫	大野郡高山町	大野郡久々野村、宮村、大名田町、灘村、大八賀村、高山町、丹生川村、上枝村、清見村、莊川村、白川村
岐阜縣古川支金庫	吉城郡古川町	益田郡朝日村、高根村
岐阜縣船津支金庫	吉城郡船津町	吉城郡國府村、古川町、細江村、小鷹利村、河合村、坂上村、坂下村
吉城郡袖川村、阿曾布村、船津町、上賣村		

○以上ノ外岐阜縣廳扱ニ係ル收入ニ付テハ各支金庫ニ於テモ之ヲ取扱フ

●縣金庫ニ於テ使用スル印章ノ件

(大正十年七月十三日 岐阜縣訓令甲第二十六號)

知事官房 内務部 警務部 警務部 警務部

明治三十四年十月岐阜縣訓令第五十五號岐阜縣會計細則第五十一條ノ縣金庫ノ印章ハ收入金ニ限リ左記様式ノモノヲ用ヒ會計規則其ノ他ノ規定ニ依ル各様式中領收年月日及縣金庫主任印ノ押捺ヲ省略スルコトヲ得

○様式

一、直徑曲尺内法八分



備考

一、上欄文字ハ岐阜縣本、支金庫名某所若ハ第何號派出トスヘキモノトス

●縣金庫事務取扱者派出ノ件

(明治四十四年三月三十一日 第五六九九號通牒)

内務部長ヨリ各(郡)市長宛

縣金庫事務取扱ニ付テハ毎日取扱銀行ヨリ擔任者ヲ貴衙ニ出張セシムヘキ命令ナリシ處今同都合ニ依リ縣稅ノ納期日俸給

ノ支給日其ノ他必要ナル場合ニ限り貴官ニ於テ特ニ御指定ノ上出頭セシメラルヘキコトニ更正相成候條右趣旨ニ依リ可然
御取計相成度依命此段及通牒候
(郡役所)、縣立病院、(物産館)ヲ除ク各廳麻ヘハ左ノ通牒
貴衙ニ於テ俸給支給日等ノ如キ多數ノ支出金アル場合ハ特ニ御指定ノ上金庫事務員ヲ貴衙ヘ出頭セシメラルモ差支無之
候條可然御取計相成度依命此段及通牒候

●日本銀行小切手使用ニ關スル件

(大正十一年
日本銀行發)

本年一月大藏省令第一號支出官事務規程及同省令第二號出納官吏事務規程ニヨリ振出サルル小切手ノ用紙ハ目下本行ニ於
テ調製中ニ付追テ貴官御使用ノ數量御請求ニ從ヒ御交付可致(本行支店又ハ代理店所在地ニ在リテハ各其ノ所在店ヨリ、手
筈ニ致候得共其様式等豫メ御承知ノ上準備被下候時ハ相互ノ便宜不躰儀ト存候様式見本一葉並ニ小切手使用上御注意ヲ
請フヘキ廉書等別紙差進候此段得貴意候也
○追テ支出官事務規程第一號書式ノ小切手振出濟通知書モ接續用紙トシテ印刷致候御含迄ニ申添候也

小 切 手

No.

金

右金額此小切手持券人ノ支拂相成度候也

年 月 日

日 本 銀 行

御 中

年月日	金額	摘 要	渡シ先名

No.

銀 四 寸 四 分 五 厘

注 意
預金部又ハ預託金ニ付テハ
適宜保管金、供託金、預金
又ハ預託金ト附記ノコト
「何 様」渡